

岩国市斎場整備基本計画（案）に対するパブリックコメントについて

平成 27 年 3 月 3 日から平成 27 年 3 月 20 日まで、市民の皆様からご意見（パブリックコメント）を募集した結果、次のとおり提出されました。

- ・ 提出者総数 276 件
- 直接提出 229 件
- ファックス 33 件
- 郵送 10 件
- 電子メール 4 件

※うち意見等記載なしにより無効 2 件

いただきましたご意見と、その意見に対する市の考え方をまとめましたので、お知らせします。

なお、今回の計画と直接関る内容でないご意見等については、岩国市への貴重なご提言として受け取らせていただいております。

No.	意見内容（要約）	市の考え方	修正 有無
1	1 葬儀にお金をかける人は少なくなり、家族葬が主と成るため、美和斎場を存続させてほしい。 2 雪の多いときは、美和町から錦斎場に行くことができない。	1 斎場の統合による伝統的な自宅葬や家族葬の可否については、斎場への移動に要する時間・距離との間には相関性があると考え、計画 13 頁より検討を行っています。その結果、抽出した 7 つの集落については、移動時間 1 時間、距離にして 30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。 基準を一定とし評価するために 1 時間の移動距離を 30km と仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。 2 可能な限りの時間変更の対応や、斎場の誘導路への融雪剤の散布、玄関周りの除雪など、	無し

		少しでも葬祭のご負担が減らせるよう努めます。	
2	<p>1 全てを都市部に集約することは、過疎化を一層強めるため、美和斎場の休廃止に反対。</p> <p>2 広報についての不満</p> <p>① パブリックコメントについて、何処が対象になっているかの要約記載がない。</p> <p>② 高齢化が進んでいるのは事実だがどれだけの人がホームページを開くことが出来るのか？…不親切。</p> <p>③ これだけの重要案件をただ題名だけで告知した、とは言えない</p> <p>④ 広報いわくに」3／1を見て、どれだけの人が斎場の問題に関心を持ったのか疑問。これで広報と言えるのか。</p> <p>3 説明会等が必要（美和）。</p>	<p>1 存続する斎場の選定に際しては、単に火葬件数の多い斎場のみを残すよう評価するのではなく、計画（案）14頁のとおり、市が広域であるため、斎場が遠方になれば移動に時間がかかり、葬儀に支障が生じる可能性があることも考慮しています。</p> <p>本計画は既設の斎場について継続する斎場を選定するものですが、今後斎場の耐用年数等を考慮しながら策定する次期計画については、都市部に限らず、市全体を見据えて、斎場の新たな配置や新築を含めたものにする必要があると考えています。</p> <p>2 パブリックコメント制度は、市が重要な計画や条例案などを作ろうとするとき、素案の段階で市民の皆さんに公表し、その案に対するご意見や提案などを募集するものです。</p> <p>計画案の内容を、限られた市広報紙の紙面に掲載することは困難です。</p> <p>市民の皆さんにお手数をおかけすることになりますが、市ホームページ上や総合支所、支所に備えられている案をご覧いただき、ご意見等を提出していただくこととなりますのでご理解ください。</p> <p>3 自治会単位等でのご要望があれば、計画の説明に対応した</p>	無し

		いと考えています。	
3	<p>1 高齢者が遠方に出かけて葬儀を行うことは、体力的に困難であるため、美和斎場の存続を希望。</p> <p>2 高齢者が遠方に出かけて葬儀を行うことは、費用がかさむため。</p> <p>3 各種公的施設が消えていくことは誠に残念。</p>	<p>1 本計画（案）においては、利用状況や施設水準のみならず、14 頁において斎場の位置と移動時間についても考察を行い、移動のご負担が一定の水準を超えないよう配慮しておりますのでご理解ください。</p> <p>2 町内の斎場が休場となった場合には、ご遺体や斎場まで参列する親族の移動にかかる費用の増額が予想されますが、伝統的な自宅葬や家族葬は可能であると考えていますので、増額にかかる葬祭の経費は交通費のみにとどまるのではないかと考えております。いずれにせよ、葬祭費が増額となる可能性があります。市全体の火葬業務の、安全な運営の継続のため、ご理解をお願いします。</p> <p>3 存続する斎場の選定に際しては、単に火葬件数の多い斎場のみを残すよう評価するのではなく、計画（案）14 頁のとおり、市が広域であるため、斎場が遠方になれば移動に時間がかかり、葬儀に支障が生じる可能性があることも考慮しています。</p> <p>本計画は既設の斎場について継続する斎場を選定するものですが、今後斎場の耐用年数等を考慮しながら策定する次期計画については、都市部に限らず、市全体を見据えて、斎場の新たな配置や新築を含めたものにする必要があると考え</p>	無し

		ています。	
4	1 美和斎場が岩国市社会福祉協議会の葬祭支援活動という社会福祉活動の場であるため、美和斎場の存続が必要。	1 岩国市社会福祉協議会による葬祭用具の無償貸し出しの利用や伝統的な講中の活動による葬祭の支援については、移動距離がかわった場合には若干の形態の変化はあると思われませんが、引き続き可能と考えています。	無し
5	1 大きく派手な葬儀を行う人は少なくなり、家族葬が多くなるため、美和斎場の廃止に反対。 2 なぜ存続する斎場を4箇所とするのか。 3 なぜ美和斎場を存続させられないのか。	1 斎場の統合による伝統的な自宅葬や家族葬の可否については、斎場への移動に要する時間・距離との間には相関性があると考え、計画13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間1時間、距離にして30km以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。 基準を一定とし評価するために1時間の移動距離を30kmと仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。 2 国立社会保障・人口問題研究所の公表データから予想されるピークの年の死亡者数に俗に言う友引明けなどの火葬集中日を考慮し、希望される受付時間が可能になるような配慮をした結果で必要炉数を算出し、維持管理などの経費を検討したうえで斎場数を決定しています。 3 斎場は不特定多数の方が利用する公共施設であり、地域に	無し

		<p>多く配置することが利便性等から考えた場合には理想ですが、斎場は火葬場という施設の性格上、使用中の故障や事故があってはならないと考えています。</p> <p>このため、斎場に対しては予防的な整備や修繕が必要となります。特に老朽化や耐用年数の経過に対応する、建物や設備の大規模修繕は多額の経費を要するため、既存の7斎場全てにこれを行なうことは困難です。よって、利便性等も考慮しつつ、継続する斎場を選択する計画を策定いたしました。</p>	
6	<p>1 美和斎場の存続を希望。玖北地区は斎場が2ヶ所必要。玖北地区は面積が広く、冬季は降雪があるため。</p>	<p>1 計画（案）12頁で示す評価表の総合評価の上位4斎場について、市内中心部から離れた集落について検討した結果を計画（案）14頁に掲載しており、いずれかの斎場に1時間で移動可能と評価しています。</p> <p>降雪時は、可能な限りの時間変更の対応や、斎場の誘導路への融雪剤の散布、玄関周りの除雪など、少しでも葬祭のご負担が減らせるよう努めます。</p>	無し
7	<p>1 広報紙に小さな文字でしかも一行で誰が見ても分からず内容が見えない、これで意見してとはこんな広報でいいのか</p> <p>2 美和には立派な葬祭用具一式があり安価なため多数の方が活用している。今後無くなるとおそらく岩国の業者で葬儀を行うケースとなるだろう。地元の弁当、飲食にも響き田舎は</p>	<p>1 パブリックコメント制度は、市が重要な計画や条例案などを作ろうとするとき、素案の段階で市民の皆さんに公表し、その案に対するご意見や提案などを募集するものです。</p> <p>計画案の内容を、限られた市広報紙の紙面に掲載することは困難です。</p> <p>市民の皆さんにお手数をお</p>	無し

	<p>だんだん疲弊していくだろう。</p> <p>3 経費が重なり国民年金生活者にとっては大問題。</p> <p>4 玖北地域の葬儀はお世話になった人、近所等、多くの人が参列しお見送りしている。市内に出るとなると、年寄りには行けず寂しい思いをすることになる。</p> <p>5 美和斎場が使えるうちは、修理して延命すべき。</p> <p>6 合併時に美川斎場は存続させるとの約束だった。</p>	<p>かけすることになりますが、市ホームページ上や総合支所、支所に備えられている案をご覧ください、ご意見等を提出していただくこととなりますのでご理解ください。</p> <p>2 斎場の統合による伝統的な自宅葬や家族葬の可否については、斎場への移動に要する時間・距離との間には相関性があると考え、計画 13 頁より検討を行っています。その結果、抽出した 7 つの集落については、移動時間 1 時間、距離にして 30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために 1 時間の移動距離を 30km と仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p> <p>3 町内の斎場が休場となった場合には、ご遺体や斎場まで参列する親族の移動にかかる費用の増額が予想されますが、伝統的な自宅葬や家族葬は可能であると考えていますので、増額にかかる葬祭の経費は交通費のみにとどまるのではないかと考えております。いずれにせよ、葬祭費が増額となる可能性があります。市全体の火葬業務の、安全な運営の継続のため、ご理解をお願いします。</p> <p>4 本計画（案）においては、利用状況や施設水準のみならず、</p>	
--	---	--	--

		<p>14 頁において斎場の位置と移動時間についても考察を行い、移動のご負担が一定の水準を超えないよう配慮しておりますのでご理解ください。</p> <p>5 斎場の維持には、通常の維持管理に要する経費のほか、建物や設備の老朽化や耐用年数の経過に対応する、大規模な修繕の経費が必要となります。</p> <p>耐用年数の超過した斎場は、毎年の定期点検や日常点検により性能を維持していますが、これにも限界があり大規模な修繕を行なうことが必要となります。この大規模修繕には多大な費用がかかるため、現在ある7つの斎場全てに必要な大規模修繕を行なうことは困難です。このため、大規模な修繕により延命し、存続する斎場を選択するための斎場整備基本計画を策定するものです。</p> <p>6 平成18年の合併以来、協定書のお約束のとおり、既存7斎場を運営してまいりました。しかし、既に設備の耐用年数を経過している斎場もあり、また順次各斎場に耐用年数が迫るため、中長期の斎場整備についての基本的な計画を策定する必要が生じたものです。</p>	
8	1 財政難の折、案に沿っての整備を急いでもらいたい。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
9	1 美和斎場が古くなれば修	1 斎場の維持には、通常の維持	無し

	<p>理・整備して存続させるべき。</p> <p>2 美和町は玖北の中でも人口が多く、雪が少ないので、美和斎場は利用するのに便利。</p> <p>3 美和斎場を存続させるべき。美和斎場は、岩国斎場が近く、岩国斎場が予約で一杯の際に美和斎場が利用できる。</p> <p>4 高齢者が増加するので、既存の斎場を廃止すべきでない。</p> <p>5 斎場は設置を反対される施設なので、既存の斎場を減らすべきではない。</p>	<p>管理に要する経費のほか、建物や設備の老朽化や耐用年数の経過に対応する、大規模な修繕の経費が必要となります。</p> <p>耐用年数の超過した斎場は、毎年の定期点検や日常点検により性能を維持していますが、これにも限界があり大規模な修繕を行なうことが必要となります。この大規模修繕には多大な費用がかかるため、現在ある7つの斎場全てに必要な大規模修繕を行なうことは困難です。このため、大規模な修繕により延命し、存続する斎場を選択するための斎場整備基本計画を策定するものです。</p> <p>2 計画（案）10頁からの各斎場の評価においては、年間の火葬件数以外の、立地状況や施設水準等も評価の対象とした総合評価としております。</p> <p>各斎場の、想定される利用者の人口については、利用状況の年間火葬件数に反映されているものと考えています。斎場までの距離につきましては、別途14頁にて考察を行っております。</p> <p>3 計画（案）12頁で示す評価表の総合評価の上位4斎場について、市内中心部から離れた集落について検討した結果を計画（案）14頁に掲載しており、いずれかの斎場に1時間で移動可能と評価しています。</p> <p>4 本計画（案）においては、利用状況や施設水準のみならず、</p>	
--	---	---	--

		<p>14頁において斎場の位置と移動時間についても考察を行い、移動のご負担が一定の水準を超えないよう配慮しておりますのでご理解ください。</p> <p>5 斎場は不特定多数の方が利用する公共施設であり、地域に多く配置することが利便性等から考えた場合には理想ですが、斎場は火葬場という施設の性格上、使用中の故障や事故があってはならないと考えています。</p> <p>このため、斎場に対しては予防的な整備や修繕が必要となります。特に老朽化や耐用年数の経過に対応する、建物や設備の大規模修繕は多額の経費を要するため、既存の7斎場全てにこれを行なうことは困難です。よって、利便性等も考慮しつつ、継続する斎場を選択する計画を策定いたしました。</p>	
10	1 今後も利用するので、美和斎場を存続させてほしい。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
11	1 美和斎場を存続させてほしい。	1 同上	無し
12	1 交通弱者には町内の斎場は大切な施設であるため、美和斎場を存続させてほしい。	1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画（案）13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間 1 時間、距離にして	無し

		<p>30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために 1 時間の移動距離を 30km と仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p>	
13	<p>1 美和斎場を存続させてほしい</p> <p>2 美和斎場が使えるまで継続し、後は美川斎場を利用するのが良い。斎場はすべて存続するのが良い。</p> <p>3 大切な最後を迎える場所を経費の問題等で制約する事に反対。</p> <p>4 斎場の適正な管理運営を行なうため、基本計画において継続する斎場を選定する事を目的とされているが、岩国市民全体に説明、周知され、パブリックコメント欄を広報紙に掲載されているが、これでは一般の方には、何が何だか理解できないのでは？と思う。</p>	<p>1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。</p> <p>2 継続しないとした3斎場についても、ただちに休廃止すると決定するものではありません。施設の老朽化や耐用年数の経過を見ながら、市民のご理解をいただき施設の適正化を推進いたします。</p> <p>3 斎場は不特定多数の方が利用する公共施設であり、地域に多く配置することが利便性等から考えた場合には理想ですが、斎場は火葬場という施設の性格上、使用中の故障や事故があってはならないと考えています。</p> <p>このため、斎場に対しては予防的な整備や修繕が必要となります。特に老朽化や耐用年数の経過に対応する、建物や設備の大規模修繕は多額の経費を要するため、既存の7斎場全てにこれを行なうことは困難です。よって、利便性等も考慮しつつ、継続する斎場を選択する</p>	無し

		<p>計画を策定いたしました。</p> <p>4 パブリックコメント制度は、市が重要な計画や条例案などを作ろうとするとき、素案の段階で市民の皆さんに公表し、その案に対するご意見や提案などを募集するものです。</p> <p>計画案の内容を、限られた市広報紙の紙面に掲載することは困難です。</p> <p>市民の皆さんにお手数をおかけすることになりますが、市ホームページ上や総合支所、支所に備えられている案をご覧いただき、ご意見等を提出していただくこととなりますのでご理解ください。</p>	
14	<p>1 葬儀を町内で安価に行いたい人が多いので、美和斎場を存続させてほしい。</p> <p>2 斎場は生活に密着した施設であるため、美和斎場廃止に反対。</p>	<p>1 町内の斎場が休場となった場合には、ご遺体や斎場まで参列する親族の移動にかかる費用の増額が予想されますが、伝統的な自宅葬や家族葬は可能であると考えていますので、増額にかかる葬祭の経費は交通費のみにとどまるのではないかと考えております。いずれにせよ、葬祭費が増額となる可能性があります。市全体の火葬業務の、安全な運営の継続のため、ご理解をお願いします。</p> <p>2 斎場は不特定多数の方が利用する公共施設であり、地域に多く配置することが利便性等から考えた場合には理想ですが、斎場は火葬場という施設の性格上、使用中の故障や事故があってはならないと考えています。</p>	無し

		<p>このため、斎場に対しては予防的な整備や修繕が必要となります。特に老朽化や耐用年数の経過に対応する、建物や設備の大規模修繕は多額の経費を要するため、既存の7斎場全てにこれを行なうことは困難です。よって、利便性等も考慮しつつ、継続する斎場を選択する計画を策定いたしました。</p>	
15	<p>1 葬祭の費用的に負担増になるため、美和斎場の廃止に反対。</p> <p>2 すべてデータで解決することに問題がある。</p>	<p>1 町内の斎場が休場となった場合には、ご遺体や斎場まで参列する親族の移動にかかる費用の増額が予想されますが、伝統的な自宅葬や家族葬は可能であると考えていますので、増額にかかる葬祭の経費は交通費のみにとどまるのではないかと考えております。いずれにせよ、葬祭費が増額となる可能性があります。市全体の火葬業務の、安全な運営の継続のため、ご理解をお願いします。</p> <p>2 斎場は不特定多数の方が利用する公共施設であり、地域に多く配置することが利便性等から考えた場合には理想ですが、斎場は火葬場という施設の性格上、使用中の故障や事故があってはならないと考えています。</p> <p>このため、斎場に対しては予防的な整備や修繕が必要となります。特に老朽化や耐用年数の経過に対応する、建物や設備の大規模修繕は多額の経費を要するため、既存の7斎場全てにこれを行なうことは困難で</p>	無し

		す。よって、利便性等も考慮しつつ、継続する斎場を選択する計画を策定いたしました。	
16	<p>1 故人を見送るのに、特に高齢者にとって近い斎場の方が良いので、美和斎場の存続を希望。</p> <p>2 美和斎場の存続の必須条件を、PRしてほしい。</p>	<p>1 本計画（案）においては、利用状況や施設水準のみならず、14 頁において斎場の位置と移動時間についても考察を行い、移動のご負担が一定の水準を超えないよう配慮しておりますのでご理解ください。</p> <p>2 斎場は不特定多数の方が利用する公共施設であり、地域に多く配置することが利便性等から考えた場合には理想ですが、斎場は火葬場という施設の性格上、使用中の故障や事故があってはならないと考えています。</p> <p>このため、斎場に対しては予防的な整備や修繕が必要となります。特に老朽化や耐用年数の経過に対応する、建物や設備の大規模修繕は多額の経費を要するため、既存の7 斎場全てにこれを行なうことは困難です。よって、利便性等も考慮しつつ、継続する斎場を選択する計画を策定いたしました。</p>	無し
17	<p>1 遠地の斎場を利用することになり交通手段が問題であるので、美和斎場の廃止に反対。</p> <p>2 葬祭費用の経済的負担が大きくなるので、美和斎場の廃止に反対。</p> <p>3 斎場等公共施設がなくなると里山が置き去りになる。</p> <p>4 斎場の存続や休廃止について住民にアンケートをとって</p>	<p>1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画（案）13 頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間 1 時間、距離にして30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できる</p>	無し

	<p>ほしい。</p>	<p>ことが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために1時間の移動距離を30kmと仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p> <p>2 町内の斎場が休場となった場合には、ご遺体や斎場まで参列する親族の移動にかかる費用の増額が予想されますが、伝統的な自宅葬や家族葬は可能であると考えていますので、増額にかかる葬祭の経費は交通費のみにとどまるのではないかと考えております。いずれにせよ、葬祭費が増額となる可能性があります。市全体の火葬業務の、安全な運営の継続のため、ご理解をお願いします。</p> <p>3 存続する斎場の選定に際しては、単に火葬件数の多い斎場のみを残すよう評価するのではなく、計画（案）14頁のとおり、市が広域であるため、斎場が遠方になれば移動に時間がかかり、葬儀に支障が生じる可能性があることも考慮しています。</p> <p>本計画は既設の斎場について継続する斎場を選定するものですが、今後斎場の耐用年数等を考慮しながら策定する次期計画については、都市部に限らず、市全体を見据えて、斎場の新たな配置や新築を含めたものにする必要があると考えています。</p>	
--	-------------	---	--

		<p>4 現段階でアンケートを行う予定はありません。自治会単位等のご要望があれば、計画の説明に対応したいと考えていますのでご了解ください。</p>	
18	<p>1 斎場が傷んでおらず炉が破損していれば修理して使用するのが賢明であるので、美和斎場の休廃止に反対。</p> <p>2 人口密集地にすべて集合するのは中止してほしい。</p>	<p>1 斎場の維持には、通常の維持管理に要する経費のほか、建物や設備の老朽化や耐用年数の経過に対応する、大規模な修繕の経費が必要となります。</p> <p>耐用年数の超過した斎場は、毎年の定期点検や日常点検により性能を維持していますが、これにも限界があり大規模な修繕を行なうことが必要となります。この大規模修繕には多大な費用がかかるため、現在ある7つの斎場全てに必要な大規模修繕を行なうことは困難です。このため、大規模な修繕により延命し、存続する斎場を選択するための斎場整備基本計画を策定するものです。</p> <p>2 存続する斎場の選定に際しては、単に火葬件数の多い斎場のみを残すよう評価するのではなく、計画（案）14頁のとおり、市が広域であるため、斎場が遠方になれば移動に時間がかかり、葬儀に支障が生じる可能性があることも考慮しています。</p> <p>本計画は既設の斎場について継続する斎場を選定するものですが、今後斎場の耐用年数等を考慮しながら策定する次期計画については、都市部に限らず、市全体を見据えて、斎場</p>	無し

		<p>の新たな配置や新築を含めたものにする必要があると考えています。</p>	
19	<p>1 戦後のベビーブームの人達が今から 20 年ぐらいの間にはどんどん亡くなり、20 年後には施設も老朽化し、その時点でもう一度考え直したら良いと思います。</p>	<p>1 現時点で、既に耐用年数を経過した施設があり、今後も順次 20 年を待たず、全ての施設に耐用年数が到来します。</p> <p>斎場整備基本計画は既設の斎場を適正管理するために継続する斎場を選定することを目的に策定した計画です。したがって、現状の斎場の評価を行ってきめたものであり、現在の位置が最適配置と考えているわけではありません。今後、斎場の耐用年数等を考慮しながら、市全体を見据えて、斎場の新たな配置や新築を含めた計画が必要になってくるものと考えています。</p>	無し
20	<p>1 美和斎場の存続を希望。</p>	<p>1 平成 27 年度から平成 30 年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。</p>	無し
21	<p>1 高齢者の多くは自宅からの旅立ちを望んでおり、家族も自宅から送りたいと考えているので、美和斎場の整備と存続が不可欠。</p>	<p>1 斎場の統合による伝統的な自宅葬や家族葬の可否については、斎場への移動に要する時間・距離との間には相関性があると考え、計画 13 頁より検討を行っています。その結果、抽出した 7 つの集落については、移動時間 1 時間、距離にして 30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するた</p>	無し

		めに 1 時間の移動距離を 30km と仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。	
22	1 中山間環境保全でも多くの高齢者が頑張っておられます。その心にむくいるためにも若者が安定した生活がたもたれるためにも生活の一部と思っている。美和斎場を撤去したり移動は不賛成。	1 斎場（火葬場）は、なくてはならない必要不可欠な施設ですが、他の生活施設とは異なり、一般の方が日常的に頻繁に利用する施設とは考えておりません。 本計画は既設の斎場について継続する斎場を選定するものですが、今後斎場の耐用年数等を考慮しながら策定する次期計画については、都市部に限らず、市全体を見据えて、斎場の新たな配置や新築を含めたものにする必要があると考えています。	無し
23	1 美和地域自治会連合会の役員（10 名）総意のもと、担当職員でなく、部長自ら出席し、説明することを求める。	1 自治会単位等でのご要望があれば、計画の説明に対応したいと考えています。	無し
24	1 美川斎場は玖北の中間地点にあり、斎場利用能力が現在ではあると思うので、残した方がよい。 2 美川斎場は通夜や葬儀が斎場でできるため、存続させたほうが良い。 3 美和斎場は現在老朽化していると聞いているので、お金をかけて使用するよりは岩国斎場を使用する方がよいと思う。 4 美和の住民が岩国斎場を利用する際、美和市民にいろいろな配慮をしてあげられないか。	1 斎場整備基本計画は既設の斎場を適正管理するために継続する斎場を選定することを目的に策定した計画です。したがって、現状の斎場の評価を行ってきたものであり、現在の位置が最適配置と考えているわけではありません。今後、斎場の耐用年数等を考慮しながら、市全体を見据えて、斎場の新たな配置や新築を含めた計画が必要になってくると考えています。 2・3 斎場の施設の評価について	無し

		<p>ては、計画（案）12 頁で示す評価表の中の施設水準で検討しています。</p> <p>4 ご相談いただくことにより、火葬業務の範囲内で可能な配慮を検討いたします。</p>	
25	<p>1 美川町は高齢化が進んでいるので地元の美川斎場を残してもらいたい。</p>	<p>1 本計画（案）においては、利用状況や施設水準のみならず、14 頁において斎場の位置と移動時間についても考察を行い、移動のご負担が一定の水準を超えないよう配慮しておりますのでご理解ください。</p>	無し
26	<p>1 葬儀は自宅で行いたいと考えており、葬祭費用も多くかかると大変であるので、近い美和斎場を存続させてほしい。</p>	<p>1 町内の斎場が休場となった場合には、ご遺体や斎場まで参列する親族の移動にかかる費用の増額が予想されますが、伝統的な自宅葬や家族葬は可能であると考えていますので、増額にかかる葬祭の経費は交通費のみにとどまるのではないかと考えております。いずれにせよ、葬祭費が増額となる可能性があります。市全体の火葬業務の、安全な運営の継続のため、ご理解をお願いします。</p>	無し
27	<p>1 利用件数だけを見るのではなく、地域の特性、人口、環境、距離等も勘案して考えるべき。</p> <p>2 美川、美和町を廃止して、一番遠い錦町の一施設を残すのは多に問題あり。距離的にも片道40～50分かかるし、大雨時の増水、がけ崩れ、冬場の積雪、凍結等、益々自然環境の悪化が懸念される。予定通りの斎場使用が出来ない事も考えられる。</p>	<p>1 計画（案）10 頁からの各斎場の評価においては、年間の火葬件数以外の、立地状況や施設水準等も評価の対象とした総合評価としております。</p> <p>各斎場の、想定される利用者の人口については、利用状況の年間火葬件数に反映されているものと考えています。斎場までの距離につきましては、別途14頁にて考察を行っております。</p>	無し

	<p>3 玖北3町の間あたりに斎場を一施設は必要。</p>	<p>2 計画(案)12頁で示す評価表の総合評価の上位4斎場について、市内中心部から離れた集落について検討した結果を計画(案)14頁に掲載しており、いずれかの斎場に1時間で移動可能と評価しています。</p> <p>3 斎場整備基本計画は既設の斎場を適正管理するために継続する斎場を選定することを目的に策定した計画です。したがって、現状の斎場の評価を行ってきめたものであり、現在の位置が最適配置と考えているわけではありません。今後、斎場の耐用年数等を考慮しながら、市全体を見据えて、斎場の新たな配置や新築を含めた計画が必要になってくるものと考えています。</p>	
28	<p>1 美川斎場の継続を希望。</p>	<p>1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。</p>	無し
29	<p>1 修理しないと使用できないものは廃止もやむを得ないが、そのまま使えるものは使った方が良い。</p>	<p>1 本計画(案)は、既存の斎場を継続利用する中で市全体の火葬需要にこたえられるよう計画するものです。老朽化や耐用年数の経過による大規模な修繕を除き、日常的な修繕や、点検のみで修繕を要しない斎場については活用することを想定しています。</p> <p>継続しないとした3斎場についても、ただちに休廃止すると決定するものではありません。</p>	無し

30	<p>1 岩国斎場は、計画整備後は予算を取りきれいにしたい。</p> <p>2 北部の斎場は、錦の他、美川と美和があり合併当初は、美和が利用出来なくなった場合は、美川を利用するよう聞いている。美川も無くなるのであれば、大変不便になる為、合併時の約束通り美川斎場を残して欲しい。</p>	<p>1 計画にて存続させるとした斎場については、建物や設備の大規模改修も含めた修繕を行い、施設の延命を図ります。</p> <p>2 計画（案）12 頁で示す評価表の総合評価の上位 4 斎場について、市内中心部から離れた集落について検討した結果を計画（案）14 頁に掲載しており、いずれかの斎場に 1 時間で移動可能と評価しています。</p> <p>平成 18 年の合併以来、協定書のお約束のとおり、既存 7 斎場を運営してまいりました。しかし、既に設備の耐用年数を経過している斎場もあり、また順次各斎場に耐用年数が迫るため、中長期の斎場整備についての基本的な計画を策定する必要が生じたものです。</p>	無し
31	<p>1 美川斎場は比較的新しいため、休廃止はもう少し様子を見てからにしてほしい。</p> <p>2 美川斎場は施設が充実しているため、休廃止はもう少し様子を見てからにしてほしい。</p> <p>3 美川斎場は位置が玖北の中心にあるため、休廃止はもう少し様子を見てからにしてほしい。</p>	<p>1・2 斎場の施設の評価については、計画（案）12 頁で示す評価表の中の施設水準で検討しています。</p> <p>3 計画（案）12 頁で示す評価表の総合評価の上位 4 斎場について、市内中心部から離れた集落について検討した結果を計画（案）14 頁に掲載しており、いずれかの斎場に 1 時間で移動可能と評価しています。</p>	無し
32	<p>1 公共施設が縮小、廃止される市政は悲しい。</p>	<p>1 斎場（火葬場）は、なくてはならない必要不可欠な施設ですが、他の生活施設とは異なり、一般の方が日常的に頻繁に利用する施設とは考えておりません。</p> <p>本計画は既設の斎場につい</p>	無し

		て継続する斎場を選定するものですが、今後斎場の耐用年数等を考慮しながら策定する次期計画については、都市部に限らず、市全体を見据えて、斎場の新たな配置や新築を含めたものにする必要があると考えています。	
33	1 高齢化が進むので、美川斎場の存続が必要。	1 本計画（案）においては、利用状況や施設水準のみならず、14 頁において斎場の位置と移動時間についても考察を行い、移動のご負担が一定の水準を超えないよう配慮しておりますのでご理解ください。	無し
34	1 美川斎場の存続を希望。 美川で生れた人は美川の斎場を利用することを希望するため。 2 斎場の存続は効果とか利用度で計るべきではない。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。 2 斎場は不特定多数の方が利用する公共施設であり、地域に多く配置することが利便性等から考えた場合には理想ですが、斎場は火葬場という施設の性格上、使用中の故障や事故があってはならないと考えています。 このため、斎場に対しては予防的な整備や修繕が必要となります。特に老朽化や耐用年数の経過に対応する、建物や設備の大規模修繕は多額の経費を要するため、既存の7斎場全てにこれを行なうことは困難です。よって、利便性等も考慮しつつ、継続する斎場を選択する計画を策定いたしました。	無し

35	<p>1 美川斎場は通夜、葬儀ができる。斎場での葬儀の利用が多くなると思われるので美川斎場を存続させてほしい。</p> <p>2 美川斎場はまだ新しいので存続させてほしい。</p> <p>3 美川斎場は近く、錦斎場に行くよりも移動ロスが少ないので美川斎場を存続させてほしい。</p>	<p>1・2 斎場の施設の評価については、計画（案）12頁で示す評価表の中の施設水準で検討しています。</p> <p>3 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画（案）13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間1時間、距離にして30km以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために1時間の移動距離を30kmと仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p>	無し
36	<p>1 美川斎場が、補修が必要なら仕方ないが、まだ使えるのであれば存続させたい。</p>	<p>1 本計画（案）は、既存の斎場を継続利用する中で市全体の火葬需要にこたえられるよう計画するものです。老朽化や耐用年数の経過による大規模な修繕を除き、日常的な修繕や、点検のみで修繕を要しない斎場については活用することを想定しています。</p> <p>継続しないとした3斎場についても、ただちに休廃止すると決定するものではありません。</p>	無し
37	<p>1 美川斎場は玖北の中心に位置しているので残してほしい。</p> <p>2 美川斎場は建物も新しく、場所も良い所なので残してほしい。</p>	<p>1 計画（案）12頁で示す評価表の総合評価の上位4斎場について、市内中心部から離れた集落について検討した結果を計画</p>	無し

<p>い。</p> <p>3 高齢者が多く移動も大変なので美川斎場を残してほしい。</p> <p>4 斎場での葬儀も必要であるので、美川斎場を残してほしい。</p> <p>5 錦斎場だけでは火葬場が不足する場合も今後はありうるので美川斎場を残してほしい。</p> <p>6 新しい斎場を作るよりも、今ある斎場を維持してもらいたい。</p> <p>7 机上の設計ではその地域地形にあっていない。もっと人情ある計画を立てる必要がある。</p>	<p>(案) 14頁に掲載しており、いずれかの斎場に1時間で移動可能と評価しています。</p> <p>2 斎場の施設の評価については、計画(案) 12頁で示す評価表の中の施設水準で検討しています。</p> <p>3 本計画(案)においては、利用状況や施設水準のみならず、14頁において斎場の位置と移動時間についても考察を行い、移動のご負担が一定の水準を超えないよう配慮しておりますのでご理解ください。</p> <p>4 2と同</p> <p>5 火葬の需用については、平成52年までの予測の中で、最も多い平成32年の死亡者数を元に一日の平均火葬件数等を積算しています(計画(案) 5頁)。また、必要炉数の積算において(計画(案) 7頁)、火葬炉の運転を1日あたり1回で計画することで、葬儀日の順延等の発生が少なくなるように配慮しています。</p> <p>6 本計画(案)は、既存の斎場を継続利用する中で市全体の火葬需要にこたえられるよう計画するものです。老朽化や耐用年数の経過による大規模な修繕を除き、日常的な修繕や、点検のみで修繕を要しない斎場については活用することを想定しています。</p> <p>継続しないとした3斎場についても、ただちに休廃止すると決定するものではありません。</p>	
---	--	--

		<p>ん。</p> <p>7 斎場は不特定多数の方が利用する公共施設であり、地域に多く配置することが利便性等から考えた場合には理想ですが、斎場は火葬場という施設の性格上、使用中の故障や事故があってはならないと考えています。</p> <p>このため、斎場に対しては予防的な整備や修繕が必要となります。特に老朽化や耐用年数の経過に対応する、建物や設備の大規模修繕は多額の経費を要するため、既存の7斎場全てにこれを行なうことは困難です。よって、利便性等も考慮しつつ、継続する斎場を選択する計画を策定いたしました。</p>	
38	<p>1 美川斎場の休廃止に反対。小中学校もなくなり斎場もなくなりそうで、こんなことでは若者がいなくなると思う。</p>	<p>1 斎場（火葬場）は、なくてはならない必要不可欠な施設ですが、他の生活施設とは異なり、一般の方が日常的に頻繁に利用する施設とは考えておりません。</p> <p>本計画は既設の斎場について継続する斎場を選定するものですが、今後斎場の耐用年数等を考慮しながら策定する次期計画については、都市部に限らず、市全体を見据えて、斎場の新たな配置や新築を含めたものにする必要があると考えています。</p>	無し
39	<p>1 美和斎場の存続を希望。 なにもかも廃止では衰退するばかりで希望の持てない過疎の町になり若者も足をとどめ</p>	<p>1 斎場（火葬場）は、なくてはならない必要不可欠な施設ですが、他の生活施設とは異なり、一般の方が日常的に頻繁に</p>	無し

	なくなる。	<p>利用する施設とは考えておりません。</p> <p>本計画は既設の斎場について継続する斎場を選定するものですが、今後斎場の耐用年数等を考慮しながら策定する次期計画については、都市部に限らず、市全体を見据えて、斎場の新たな配置や新築を含めたものにする必要があると考えています。</p>	
40	1 美和の斎場を廃止することなく是非とも存続してほしい。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
41	1 美和の斎場を廃止することなく是非とも存続してほしい。	1 同上	無し
42	<p>1 斎場施設が老朽化して新設するのであれば反対だが、現存施設を利用するのであるから美和斎場の休廃止には反対。</p> <p>2 維持管理費は工夫すればそんなにかからないと思う。</p> <p>3 ご不幸があった場合に美和斎場を利用してもらうよう啓発してほしい。</p>	<p>1 本計画（案）は、既存の斎場を継続利用する中で市全体の火葬需要にこたえられるよう計画するものです。老朽化や耐用年数の経過による大規模な修繕を除き、日常的な修繕や、点検のみで修繕を要しない斎場については活用することを想定しています。</p> <p>継続しないとした3斎場についても、ただちに休廃止すると決定するものではありません。</p> <p>2 斎場の維持には、通常の維持管理に要する経費のほか、建物や設備の老朽化や耐用年数の経過に対応する、大規模な修繕の経費が必要となります。</p> <p>耐用年数の超過した斎場は、毎年の定期点検や日常点検に</p>	無し

		<p>より性能を維持していますが、これにも限界があり大規模な修繕を行なうことが必要となります。この大規模修繕には多大な費用がかかるため、現在ある7つの斎場全てに必要な大規模修繕を行なうことは困難です。このため、大規模な修繕により延命し、存続する斎場を選択するための斎場整備基本計画を策定するものです。</p> <p>3 葬祭の形態は多様化しており、また市民が自由に選択すべきものであるため、市の指導は困難と考えています。</p>	
43	1 美和斎場廃止に反対です。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
44	1 美和斎場廃止に反対です。	1 同上	無し
45	<p>1 美和町には、近くに斎場がないため、少しでも美和斎場を残しておいてほしい。</p> <p>2 年をとって行くにつれ、やることがたいへんになって来る。</p>	<p>1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画（案）13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間1時間、距離にして30km以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために1時間の移動距離を30kmと仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p>	無し

		2 本計画（案）においては、利用状況や施設水準のみならず、14 頁において斎場の位置と移動時間についても考察を行い、移動のご負担が一定の水準を超えないよう配慮しておりますのでご理解ください。	
46	1 美和町にも、斎場を残しておいてください。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
47	1 美和町にも、斎場を残しておいてください。	1 同上	無し
48	1 二人も高齢者がいるので先が不安。是非美和斎場を残してほしい。	1 本計画（案）においては、利用状況や施設水準のみならず、14 頁において斎場の位置と移動時間についても考察を行い、移動のご負担が一定の水準を超えないよう配慮しておりますのでご理解ください。	無し
49	1 二人も高齢者がいるので先が不安。是非美和斎場を残してほしい。	1 本計画（案）においては、利用状況や施設水準のみならず、14 頁において斎場の位置と移動時間についても考察を行い、移動のご負担が一定の水準を超えないよう配慮しておりますのでご理解ください。	無し
50	1 美和斎場廃止には反対です。残してください。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
51	1 斎場を廃止するよりも無駄な施設があると思うので廃止には反対。	1 同上	無し
52	1 美和町に斎場をのこして下さい。	1 同上	無し

53	1 美和町に斎場をのこして下さい。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
54	1 美和町の斎場は現在の場所で、古くなれば整備して末永く使用したい。	1 斎場の維持には、通常の維持管理に要する経費のほか、建物や設備の老朽化や耐用年数の経過に対応する、大規模な修繕の経費が必要となります。 耐用年数の超過した斎場は、毎年の定期点検や日常点検により性能を維持していますが、これにも限界があり大規模な修繕を行なうことが必要となります。この大規模修繕には多大な費用がかかるため、現在ある7つの斎場全てに必要な大規模修繕を行なうことは困難です。このため、大規模な修繕により延命し、存続する斎場を選択するための斎場整備基本計画を策定するものです。	無し
55	1 美和町にある唯一の斎場を無くす計画が進められているのだとしたら断固反対。 2 一人一人の声かけ市民の意見を傾聴し、意見を聞き入れるべきだと思う。 3 美和町にある斎場が無くなれば多くの利用予定者に多大な負担がかかる。	1・2 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。 3 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画(案)13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間1時間、距離にして30km以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できる	無し

		<p>ことが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために 1 時間の移動距離を 30km と仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p>	
56	1 美和斎場は今までどおり存続を希望する。	1 平成 27 年度から平成 30 年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
57	1 現時点では斎場はあったほうが良いので美和斎場の存続を希望する。	1 同上	無し
58	<p>1 本郷地区住民は大変こまることになる。是非存続の方向で計画の中止を（美和斎場）。</p> <p>2 本郷地区住民は大変こまることになる。是非存続の方向で計画の中止を（美川斎場）。</p>	1・2 同上	無し
59	1 美川町斎場及び美和町の斎場を廃止されると美川町、本郷町及び美和町に居住する玖北地区の多数住民は葬儀の際、錦町の斎場を利用するか、遠く岩国市川西の斎場を利用せざるを得なくなり大変不便となる。美川町の斎場、美和町の斎場を廃止に反対。	<p>1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画（案）13 頁より検討を行っています。その結果、抽出した 7 つの集落については、移動時間 1 時間、距離にして 30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために 1 時間の移動距離を 30km と仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p>	無し

60	1 身寄りのない方等は金銭の問題等で葬儀等についても一定の制約があるが、老人ホームで一緒に暮らした仲間を誰もが、見送りたいと思っている。 (美川・美和) そのためにも本郷に近い斎場をのこしてもらいたい。	1 本計画(案)においては、利用状況や施設水準のみならず、14頁において斎場の位置と移動時間についても考察を行い、移動のご負担が一定の水準を超えないよう配慮しておりますのでご理解ください。	無し
61	1 火葬場が無くなったら困る。新しく作ってほしい。(美和町)	1 国立社会保障・人口問題研究所の公表データから予想されるピークの年の死亡者数に俗に言う友引明けなどの火葬集中日を考慮し、希望される受付時間が可能になるような配慮をした結果で必要炉数を算出し、維持管理などの経費を検討したうえで斎場数を決定しています。	無し
62	1 美和斎場を残してください。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
63	1 美和斎場は是非残して下さい。	1 同上	無し
64	1 美和斎場を残して下さい。	1 同上	無し
65	1 美和斎場を残して下さい。	1 同上	無し
66	1 美和に残して下さい。	1 同上	無し
67	1 美和斎場を残して欲しい。	1 同上	無し
68	1 美和斎場を残して下さい。	1 同上	無し
69	1 是非美和斎場を残して下さい。	1 同上	無し
70	1 是非美和斎場を残して下さい。	1 同上	無し
71	1 美和斎場を残して欲しい。	1 同上	無し
72	1 美和斎場を残して下さい。	1 同上	無し

73	1 美和町に斎場を残して。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
74	1 美和町の斎場を必ず残して欲しい。	1 同上	無し
75	1 美和斎場を残して下さい。	1 同上	無し
76	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 同上	無し
77	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 同上	無し
78	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 同上	無し
79	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 同上	無し
80	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 同上	無し
81	1 美和斎場の休廃止に反対する。特に秋掛地区にとっては大問題。	1 同上	無し
82	1 美和斎場の休廃止に反対します。遠すぎて大変です。	1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画（案）13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間1時間、距離にして30km以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。 基準を一定とし評価するために1時間の移動距離を30kmと仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承	無し

		承ください。	
83	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
84	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 同上	無し
85	1 美和斎場の休廃止に反対する。秋掛地区一番遠く不便です。	1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画（案）13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間1時間、距離にして30km以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。 基準を一定とし評価するために1時間の移動距離を30kmと仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。	無し
86	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
87	1 （錦斎場や岩国斎場は）遠いため、美和斎場の休廃止に反対します。	1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画（案）13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間1時間、距離にして	無し

		<p>30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために 1 時間の移動距離を 30km と仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p>	
88	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 平成 27 年度から平成 30 年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
89	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 同上	無し
90	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 同上	無し
91	1 是非美和町に斎場を残してもらいたい。	1 同上	無し
92	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 同上	無し
93	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 同上	無し
94	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 同上	無し
95	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 同上	無し
96	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 同上	無し
97	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 同上	無し
98	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 同上	無し
99	1 秋掛地区は市内の斎場まで遠いので美和斎場の廃止は反対です。	1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考	無し

		<p>え、計画（案）13 頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間 1 時間、距離にして 30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために 1 時間の移動距離を 30km と仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p>	
100	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
101	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 同上	無し
102	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 同上	無し
103	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 同上	無し
104	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 同上	無し
105	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 同上	無し
106	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 同上	無し
107	1 反対します。いろいろなことがこの美和で不便になってきています。生活しづらい町づくりはやめてください。	1 同上	無し
108	1 美和斎場の休廃止に反対します。秋掛地区から岩国の斎場に行くという事は、いろいろな負担が増えてくるし、いざとい	1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考	無し

	うときには必ず美和の斎場が必要だと思うので。	え、計画（案）13 頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間 1 時間、距離にして 30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。 基準を一定とし評価するために 1 時間の移動距離を 30km と仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。	
109	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
110	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 同上	無し
111	1 美和斎場の休廃止に反対します。岩国まで出て行くのは遠すぎます。	1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画（案）13 頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間 1 時間、距離にして 30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。 基準を一定とし評価するために 1 時間の移動距離を 30km と仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。	無し
112	1 美和斎場の休廃止に反対す	1 平成27年度から平成30年度	無し

	る。	までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	
113	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
114	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 同上	無し
115	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 同上	無し
116	1 美和斎場の休廃止に反対する。	1 同上	無し
117	1 旧岩国市に移転すると車でも秋掛からは片道一時間もかかり、特に高齢者にとっては不便なため美和町に斎場を残してもらいたい。	1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画（案）13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間1時間、距離にして30km以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。 基準を一定とし評価するために1時間の移動距離を30kmと仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。	無し
118	1 美和斎場の存続を希望する。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し

119	<p>1 年齢を重ねていくごとに体力の限界や行動範囲も限られて来る。現在の生活状況で公共交通機関が不便なため、自家用車が必要になる。利用をさけて通れない斎場は必ず近くに必要なので、斎場を美和町内に残して欲しい。</p>	<p>1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画（案）13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間1時間、距離にして30km以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために1時間の移動距離を30kmと仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p>	無し
120	<p>1 美和斎場が無くなったら困るので存続して欲しい。</p>	<p>1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。</p>	無し
121	<p>1 美和斎場は、これまでであったのでこの状態が変わらず利用出来る様にしたい。</p>	<p>1 同上</p>	無し
122	<p>1 美和斎場は地元になくてもいいと思う。出来れば新しい建物にしてほしい。</p>	<p>1 国立社会保障・人口問題研究所の公表データから予想されるピークの年の死亡者数に俗に言う友引明けなどの火葬集中日を考慮し、希望される受付時間が可能になるような配慮をした結果で必要炉数を算出し、維持管理などの経費を検討したうえで斎場数を決定しています。</p>	無し
123	<p>1 錦斎場や岩国斎場は、距離があるので美和町に斎場を残してほしい。冬場など大変です。</p>	<p>1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経</p>	無し

		<p>費の間には相関性があると考え、計画（案）13 頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間 1 時間、距離にして 30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために1時間の移動距離を30kmと仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p> <p>降雪の際には、可能な限りの時間変更の対応や、斎場の誘導路への融雪剤の散布、玄関周りの除雪など、少しでも葬祭のご負担が減らせるよう努めます。</p>	
124	1 美和斎場を整備して良くしてもらいたい。なくなつてはこまる。	<p>1 斎場の維持には、通常の維持管理に要する経費のほか、建物や設備の老朽化や耐用年数の経過に対応する、大規模な修繕の経費が必要となります。</p> <p>耐用年数の超過した斎場は、毎年の定期点検や日常点検により性能を維持していますが、これにも限界があり大規模な修繕を行なうことが必要となります。この大規模修繕には多大な費用がかかるため、現在ある7つの斎場全てに必要な大規模修繕を行なうことは困難です。このため、大規模な修繕により延命し、存続する斎場を選択するための斎場整備基本計画を策定するものです。</p>	無し
125	1 元気でないので斎場は近く	1 平成27年度から平成30年度	無し

	が良い。(美川町)	までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	
126	<p>1 美川町でも人口が減っていくなかで市ヶ原地区はお寺さんを中心にまとまっている。斎場が失われてしまうと葬儀はすべて全国チェーンにという事になって自宅葬が出来なくなってしまう。</p> <p>2 美川町から錦斎場は遠い。</p> <p>3 美川斎場の休廃止は山間部の結束をこわしてしまう行為だと思う。</p>	<p>1・2 斎場の統合による伝統的な自宅葬や家族葬の可否については、斎場への移動に要する時間・距離との間には相関性があると考え、計画 13 頁より検討を行っています。その結果、抽出した 7 つの集落については、移動時間 1 時間、距離にして 30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために 1 時間の移動距離を 30km と仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p> <p>3 斎場(火葬場)は、なくてはならない必要不可欠な施設ですが、他の生活施設とは異なり、一般の方が日常的に頻繁に利用する施設とは考えておりません。</p> <p>本計画は既設の斎場について継続する斎場を選定するものですが、今後斎場の耐用年数等を考慮しながら策定する次期計画については、都市部に限らず、市全体を見据えて、斎場の新たな配置や新築を含めたものにする必要があると考えています。</p>	無し
127	1 限界集落で斎場がなくなってしまうと集落の結束が失わ	1 斎場の統合による伝統的な自宅葬や家族葬の可否につい	無し

	<p>れてしまう。葬儀で大手の全国チェーンの業者にもうけさせるだけ。今は地域の力を集結出来るが、斎場が失われるとそれも出来なくなる。(美川町)</p> <p>2 地域のボイラー資格を持っている人にその時だけ働いてもらう方法もあると思う。</p>	<p>ては、斎場への移動に要する時間・距離との間には相関性があると考え、計画 13 頁より検討を行っています。その結果、抽出した 7 つの集落については、移動時間 1 時間、距離にして 30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために1時間の移動距離を30kmと仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p> <p>2 維持経費軽減のほか、利用者の利便性にでき得る限り答えられるよう努めます。</p>	
128	<p>1 財政が厳しくなれば種々の角度から合理化を検討し実施するのは当然である。しかし机上で検討決定する前に住民の意向を聴いたり、専門家の意見を聞いて見る必要がある。</p> <p>2 玖北の一番端に在る錦斎場を残して使用すると言う考え方は将来失敗であったと言ったときが来る</p> <p>玖北の中心は美川斎場であり本郷や美和から美川斎場を通り越して錦斎場に行くとしたら住民の行政に対する不信感が出て来る。美川斎場は 30 km 以内の地域が 6 ヶ所、錦斎場は 5 ヶ所、評価点は取り方、時期によっても異なる。</p> <p>3 人口密度が大きいからと言っても岩国市街地周辺に 3 ヶ</p>	<p>1 現段階でアンケート等を行う予定はありませんが、自治会単位等でのご要望があれば、計画の説明に対応したいと考えていますのでご了解ください。</p> <p>2 計画(案) 12 頁で示す評価表の総合評価の上位 4 斎場について、市内中心部から離れた集落について検討した結果を計画(案) 14 頁に掲載しており、いずれかの斎場に 1 時間で移動可能と評価しています。</p> <p>3 存続する斎場の選定に際しては、単に火葬件数の多い斎場のみを残すよう評価するのではなく、計画(案) 14 頁のとおり、市が広域であるため、斎場が遠方になれば移動に時間がかかり、葬儀に支障が生じる可能性があることも考慮して</p>	無し

	<p>所で玖北1ヶ所というのは問題がある。</p> <p>4 斎場を廃止し、解体撤去するには多額の解体工事費を要するので、行うべきでは無い。安価な経費で保存使用し、斎場が火災、事故等で使用出来なくなったらすぐ切り替えるようにすべきである。</p> <p>5 民間葬儀社を使用する頻度が増加傾向にあるが割安の自宅を使用するように指導すべき。</p>	<p>います。</p> <p>本計画は既設の斎場について継続する斎場を選定するものですが、今後斎場の耐用年数等を考慮しながら策定する次期計画については、都市部に限らず、市全体を見据えて、斎場の新たな配置や新築を含めたものにする必要があると考えています。</p> <p>4 斎場の維持には、通常の維持管理に要する経費のほか、建物や設備の老朽化や耐用年数の経過に対応する、大規模な修繕の経費が必要となります。</p> <p>耐用年数の超過した斎場は、毎年の定期点検や日常点検により性能を維持していますが、これにも限界があり大規模な修繕を行なうことが必要となります。この大規模修繕には多大な費用がかかるため、現在ある7つの斎場全てに必要な大規模修繕を行なうことは困難です。このため、大規模な修繕により延命し、存続する斎場を選択するための斎場整備基本計画を策定するものです。</p> <p>5 葬祭の形態は多様化しており、また市民が自由に選択すべきものであるため、市の指導は困難と考えています。</p>	
129	<p>1 美和町内で葬儀ができなくなると不便になるため美和斎場をなくさないでほしい。福祉センターで葬儀ができるように活用できればいいと思う。</p>	<p>1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。</p>	無し
130	<p>1 美和町で葬儀が出来なくな</p>	<p>1 同上</p>	無し

	<p>れば不便になるため美和斎場を残してほしい。美和町で葬儀が出来るように考えてもらいたい。</p>		
131	<p>1 美和斎場の廃炉については現状絶対に反対します。</p> <p>2 広報についての不満</p> <p>① パブリックコメントについて、何処が対象になっているかの要約記載がない</p> <p>② 高齢化が進んでいるのは事実だがどれだけの人がホームページを開くことが出来るのか？…不親切</p> <p>③ これだけの重要案件をただ題名だけで告知した、とは言えない</p> <p>3 説明会等が必要（美和）。</p>	<p>1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。</p> <p>2 パブリックコメント制度は、市が重要な計画や条例案などを作ろうとするとき、素案の段階で市民の皆さんに公表し、その案に対するご意見や提案などを募集するものです。</p> <p>計画案の内容を、限られた市広報紙の紙面に掲載することは困難です。</p> <p>市民の皆さんにお手数をおかけすることになりますが、市ホームページ上や総合支所、支所に備えられている案をご覧いただき、ご意見等を提出していただくこととなりますのでご理解ください。</p> <p>3 自治会単位等でのご要望があれば、計画の説明に対応したいと考えています。</p>	無し
132	<p>1 美和斎場が廃止になれば私たちの地区は錦斎場に行くようになると思うが、遠くなり大変。美和斎場を存続して下さい。</p>	<p>1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画（案）13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間1時間、距離にして30km以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できる</p>	無し

		<p>ことが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために1時間の移動距離を30kmと仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p>	
133	<p>1 美和斎場を廃止にしないで下さい。</p>	<p>1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。</p>	無し
134	<p>1 美和町地域では今も多くの方が自宅で葬儀を行っている。美和の斎場が無くなると岩国斎場又は錦斎場まで行くことになり大変です。ぜひ美和斎場を存続して下さい。</p>	<p>1 斎場の統合による伝統的な自宅葬や家族葬の可否については、斎場への移動に要する時間・距離との間には相関性があると考え、計画13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間1時間、距離にして30km以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために1時間の移動距離を30kmと仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p>	無し
135	<p>1 美和町内各地より机上では1時間以内との事ですが、往復では2時間となり、葬儀がまる1日必要となる（従来は半日程度）</p> <p>2 合理化は他の部門で行うべきである。</p>	<p>1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画（案）13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間1時間、距離にして30km以内で、存続するとした</p>	無し

		<p>斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために1時間の移動距離を30kmと仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p> <p>2 斎場は不特定多数の方が利用する公共施設であり、地域に多く配置することが利便性等から考えた場合には理想ですが、斎場は火葬場という施設の性格上、使用中の故障や事故があってはならないと考えています。</p> <p>このため、斎場に対しては予防的な整備や修繕が必要となります。特に老朽化や耐用年数の経過に対応する、建物や設備の大規模修繕は多額の経費を要するため、既存の7斎場全てにこれを行なうことは困難です。よって、利便性等も考慮しつつ、継続する斎場を選択する計画を策定いたしました。</p>	
136	1 美和斎場の休廃止に反対。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
137	1 美和斎場を廃止しないではない。	1 同上	無し
138	1 美和斎場の休廃止に反対。	1 同上	無し
139	1 美和斎場の休廃止に反対。	1 同上	無し
140	1 美和斎場の休廃止に反対。	1 同上	無し
141	1 美和斎場の休廃止に反対。	1 同上	無し

142	1 不便であるので、美和斎場の休廃止に反対。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
143	1 美和斎場の休廃止に反対します。	1 同上	無し
144	1 美和斎場の休廃止に反対します。	1 同上	無し
145	1 美和斎場の休廃止に反対します。	1 同上	無し
146	1 美和斎場の休廃止に反対します。	1 同上	無し
147	1 美和斎場の休廃止に反対します。	1 同上	無し
148	1 美和斎場の休廃止に反対します。	1 同上	無し
149	1 美和斎場の休廃止に反対します。	1 同上	無し
150	1 美和斎場の休廃止に反対します。	1 同上	無し
151	1 美和斎場の休廃止に反対します。	1 同上	無し
152	1 美和斎場の休廃止に反対します。	1 同上	無し
153	1 美和斎場の休廃止に反対します。	1 同上	無し
154	1 美和斎場の休廃止に反対します。	1 同上	無し
155	1 美和斎場の休廃止に反対します。	1 同上	無し
156	1 美和斎場の休廃止に反対。	1 同上	無し
157	1 美和斎場の休廃止に反対。	1 同上	無し
158	1 美和斎場の休廃止に反対します。	1 同上	無し
159	1 美和斎場の休廃止に反対します。	1 同上	無し

160	1 美和斎場の休廃止に反対します。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
161	1 美和斎場の休廃止に反対します。	1 同上	無し
162	1 美和斎場の休廃止に反対します。	1 同上	無し
163	1 美和斎場の休廃止に反対します。	1 同上	無し
164	1 美和斎場の休廃止に反対します。	1 同上	無し
165	1 美和斎場の休廃止に反対します。遠方になりとても不便を感じます。	1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画（案）13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間 1 時間、距離にして30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。 基準を一定とし評価するために 1 時間の移動距離を 30km と仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。	無し
166	1 美和斎場の休廃止に反対します。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
167	1 美和斎場の休廃止に反対します。	1 同上	無し

168	1 美和斎場の休廃止に反対します。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
169	1 美和斎場の休廃止に反対。	1 同上	無し
170	1 整備ですむのなら、美和斎場を休廃止しなくともよいと思う。	1 斎場の維持には、通常の維持管理に要する経費のほか、建物や設備の老朽化や耐用年数の経過に対応する、大規模な修繕の経費が必要となります。 耐用年数の超過した斎場は、毎年の定期点検や日常点検により性能を維持していますが、これにも限界があり大規模な修繕を行なうことが必要となります。この大規模修繕には多大な費用がかかるため、現在ある7つの斎場全てに必要な大規模修繕を行なうことは困難です。このため、大規模な修繕により延命し、存続する斎場を選択するための斎場整備基本計画を策定するものです。	無し
171	1 美和斎場の休廃止に反対。斎場が遠くなりすぎるから。	1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画（案）13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間1時間、距離にして30km以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。 基準を一定とし評価するために1時間の移動距離を30kmと仮定していますが、降雪等の	無し

		悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。	
172	<p>1 基本的に美和斎場の休廃止に反対。財政面から合理的に整備することはやむを得ない部分もあるかと思うが、いつも切り捨てられるのは山間僻地です。地方創生どころか、益々住みにくくなっていくような気がします。</p> <p>2 現在地の美和斎場は周辺環境変化により適地とは思えない。玖北全体を考えて未来志向で斎場を再建することを希望する。</p>	<p>1 存続する斎場の選定に際しては、単に火葬件数の多い斎場のみを残すよう評価するのではなく、計画（案）14頁のとおり、市が広域であるため、斎場が遠方になれば移動に時間がかかり、葬儀に支障が生じる可能性があることも考慮しています。</p> <p>本計画は既設の斎場について継続する斎場を選定するものですが、今後斎場の耐用年数等を考慮しながら策定する次期計画については、都市部に限らず、市全体を見据えて、斎場の新たな配置や新築を含めたものにする必要があると考えています。</p> <p>2 斎場整備基本計画は既設の斎場を適正管理するために継続する斎場を選定することを目的に策定した計画です。したがって、現状の斎場の評価を行ってきめたものであり、現在の位置が最適配置と考えているわけではありません。今後、斎場の耐用年数等を考慮しながら、市全体を見据えて、斎場の新たな配置や新築を含めた計画が必要になってくるものと考えています。</p>	無し
173	<p>1 美和町の便利が悪くなるので美和斎場の休廃止は反対です。</p>	<p>1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努め</p>	無し

		ます。	
174	<p>1 斎場が遠くなり大変であるので、美和斎場の休廃止に反対します。</p>	<p>1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画（案）13 頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間 1 時間、距離にして 30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために1時間の移動距離を30kmと仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p>	無し
175	<p>1 美和町北部は全集落が今高齢者。過疎化で収入もなく市内方面の高額の葬祭場所に行く事の出来ない市民が 70%を越えると思う。</p> <p>2 今山間部に住んでいる人は残りの人生は後5年～10年で終わり。その時に 60 km～70 km も離れた所での火葬は無理があると思う。</p>	<p>1 町内の斎場が休場となった場合には、ご遺体や斎場まで参列する親族の移動にかかる費用の増額が予想されますが、伝統的な自宅葬や家族葬は可能であると考えていますので、増額にかかる葬祭の経費は交通費のみにとどまるのではないかと考えております。いずれにせよ、葬祭費が増額となる可能性があります。市全体の火葬業務の、安全な運営の継続のため、ご理解をお願いします。</p> <p>2 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画（案）13 頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、</p>	無し

		<p>移動時間 1 時間、距離にして 30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために 1 時間の移動距離を 30km と仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p>	
176	1 美和斎場の存続を希望。	1 平成 27 年度から平成 30 年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
177	1 美和斎場が無くなったら美和町の皆さんが困るから整備して下さい。福祉センター等整備して、葬儀が出来るようにしたら良いと思う。	1 同上	無し
178	<p>1 平成 27 年度から実施されそのような内容の計画案はいつ頃市民の理解が得られ、また整備計画（案）に該当する地域住民との協議がいつ行われたのかなど、不明部分があり戸惑っている。</p> <p>2 整備計画（案）に該当する地域住民にとっては、自宅葬などコミュニケーションの場を破壊に追い込む最初の一步になるのではないのかなど、地域住民にとって大変な問題であり、慎重に対応しなければならないことだと思う。</p> <p>3 今回の広報は、整備基本計画（案）の具体的な内容は明記されず、住民各々が調べなければ</p>	<p>1 計画（案）15 頁にありますとおり、7 斎場から 4 斎場への適正配置は、平成 27 年度よりただちに行うのではなく、平成 27 年度から平成 30 年度までの間に市民の理解を得ることとしています。自治会単位等のご要望があれば、計画の説明に対応したいと考えていますので、よろしくお願ひします。</p> <p>2 斎場の統合による伝統的な自宅葬や家族葬の可否については、斎場への移動に要する時間・距離との間には相関性があると考え、計画 13 頁より検討を行っています。その結果、抽出した 7 つの集落については、移動時間 1 時間、距離にして</p>	無し

	<p>意見提出ができないと言う不親切な募集内容だと感じられた。</p> <p>行政が何を考え、何を行おうとしているのかなどが住民に分かるようにする。これが住民の安心につながるのではないかと思う。</p> <p>4 整備計画（案）に該当する地域住民には特に丁寧な説明と同意を得た上で実施してもらいたい。</p>	<p>30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために 1 時間の移動距離を 30km と仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p> <p>3 パブリックコメント制度は、市が重要な計画や条例案などを作ろうとするとき、素案の段階で市民の皆さんに公表し、その案に対するご意見や提案などを募集するものです。</p> <p>計画案の内容を、限られた市広報紙の紙面に掲載することは困難です。</p> <p>市民の皆さんにお手数をおかけすることになりますが、市ホームページ上や総合支所、支所に備えられている案をご覧いただき、ご意見等を提出していただくこととなりますのでご理解ください。</p> <p>4 自治会単位等でのご要望があれば、計画の説明に対応したいと考えています。</p>	
179	<p>1 美川斎場はとても良い斎場なので皆さんも喜んで使用されている様です。今後もずっとその場所で有って欲しいと思う。美川斎場の継続を希望する。</p>	<p>1 平成 27 年度から平成 30 年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。</p>	無し
180	<p>1 美川斎場は是非残してほしい。管理維持費は大変だと思うが、美川町は農協もなくなり、食料品店もなくなり、とても寂</p>	<p>1 斎場（火葬場）は、なくてはならない必要不可欠な施設ですが、他の生活施設とは異なり、一般の方が日常的に頻繁に</p>	無し

	しい町になっていると思う。	<p>利用する施設とは考えておりません。</p> <p>本計画は既設の斎場について継続する斎場を選定するものですが、今後斎場の耐用年数等を考慮しながら策定する次期計画については、都市部に限らず、市全体を見据えて、斎場の新たな配置や新築を含めたものにする必要があると考えています。</p>	
181	1 美川斎場の施設が利用できる限り現状のまま維持されることを望みます。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
182	1 美和斎場の廃止案が予定されているが、美和住民は納得いくものではない。美和町は高齢者も多く市内、錦町まで行く事となれば苦痛なこと。本郷、美川の住民も同じ事を思っているに違いない。今一度「0」ベースで考え直してもらいたい。	1 本計画（案）においては、利用状況や施設水準のみならず、14頁において斎場の位置と移動時間についても考察を行い、移動のご負担が一定の水準を超えないよう配慮しておりますのでご理解ください。	無し
183	1 美川斎場の継続を強く強く願う。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
184	1 美川斎場は近場で利用しやすいため、是非残してほしい。	1 同上	無し
185	1 最近では美和町も自宅葬が減少し、会館葬が増えて、美和斎場の稼働率が減少傾向にあることはわかるが、年間何十件かは、利用する遺族があるはずで、もし美和斎場が廃止にでもなれば、遠方まで、出向くこと	1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画（案）13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、	無し

	<p>になり、時間的にも、費用の面においても非常に、負担が増える事になる。したがって今使用できる施設があるのだから、美和斎場は廃止等せずに存続させてほしい。</p>	<p>移動時間 1 時間、距離にして 30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために 1 時間の移動距離を 30km と仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p>	
186	<p>1 近くの斎場が無くなることは、大変にこまります。我が家も両親を、美川斎場を利用しました。</p>	<p>1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。</p>	無し
187	<p>1 近くの斎場が無くなることは、大変にこまります。我が家も両親を、美川斎場を利用しました。</p>	<p>1 同上</p>	無し
188	<p>1 現在当地区では 90%以上が自宅で告別式を行っており、今の 14.3km でも遠すぎると感じているのに倍の 28.3km では特に積雪時等では不便と思わる。</p> <p>2 斎場数が減る事で日程的に混乱が発生すると思う。</p> <p>3 新設するのではなく現状の維持なので福祉の縮小はしてほしくない。(美和町)</p>	<p>1 斎場の統合による伝統的な自宅葬や家族葬の可否については、斎場への移動に要する時間・距離との間には相関性があると考え、計画 13 頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間 1 時間、距離にして 30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために 1 時間の移動距離を 30km と仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p> <p>2 火葬の需用については、平成 52 年までの予測の中で、最も</p>	無し

		<p>多い平成 32 年の死亡者数を元に一日の平均火葬件数等を積算しています(計画(案) 5 頁)。また、必要炉数の積算において(計画(案) 7 頁)、火葬炉の運転を 1 日あたり 1 回で計画することで、葬儀日の順延等の発生が少なくなるように配慮しています。</p> <p>3 斎場は不特定多数の方が利用する公共施設であり、地域に多く配置することが利便性等から考えた場合には理想ですが、斎場は火葬場という施設の性格上、使用中の故障や事故があってはならないと考えています。</p> <p>このため、斎場に対しては予防的な整備や修繕が必要となります。特に老朽化や耐用年数の経過に対応する、建物や設備の大規模修繕は多額の経費を要するため、既存の 7 斎場全てにこれを行なうことは困難です。よって、利便性等も考慮しつつ、継続する斎場を選択する計画を策定いたしました。</p>	
189	<p>1 今まで通り美川斎場を残してほしい。</p> <p>2 町内に斎場が一ヶ所あった方が良いと思う。</p>	<p>1 平成 27 年度から平成 30 年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。</p> <p>2 斎場は不特定多数の方が利用する公共施設であり、地域に多く配置することが利便性等から考えた場合には理想ですが、斎場は火葬場という施設の性格上、使用中の故障や事故が</p>	無し

		<p>あつてはならないと考えています。</p> <p>このため、斎場に対しては予防的な整備や修繕が必要となります。特に老朽化や耐用年数の経過に対応する、建物や設備の大規模修繕は多額の経費を要するため、既存の7斎場全てにこれを行なうことは困難です。よって、利便性等も考慮しつつ、継続する斎場を選択する計画を策定いたしました。</p>	
190	<p>1 使用可能な限り、ぜひ美川町に斎場を置いてほしい。だんだんと町から施設がなくなっていくのを見ると将来が不安。</p>	<p>1 斎場（火葬場）は、なくてはならない必要不可欠な施設ですが、他の生活施設とは異なり、一般の方が日常的に頻繁に利用する施設とは考えておりません。</p> <p>本計画は既設の斎場について継続する斎場を選定するものですが、今後斎場の耐用年数等を考慮しながら策定する次期計画については、都市部に限らず、市全体を見据えて、斎場の新たな配置や新築を含めたものにする必要があると考えています。</p>	無し
191	<p>1 美川斎場を絶対に残してほしい。何もかも無くなり不便でつらい。最後に行く場所くらい近くにほしい。</p>	<p>1 斎場（火葬場）は、なくてはならない必要不可欠な施設ですが、他の生活施設とは異なり、一般の方が日常的に頻繁に利用する施設とは考えておりません。</p> <p>本計画は既設の斎場について継続する斎場を選定するものですが、今後斎場の耐用年数等を考慮しながら策定する次期計画については、都市部に限</p>	無し

		らず、市全体を見据えて、斎場の新たな配置や新築を含めたものにする必要があると考えています。	
192	1 美川斎場は続けてほしい。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
193	1 美川町の斎場も使われるようになって大変良い事だと思う。	1 同上	無し
194	1 斎場が遠くでは部落の人達の葬祭への参加がむづかしいと思うので、美川斎場の存続を希望。	1 岩国市社会福祉協議会による葬祭用具の無償貸し出しの利用や伝統的な講中の活動による葬祭の支援については、移動距離がかわった場合には若干の形態の変化はあると思われませんが、引き続き可能と考えています。	無し
195	1 高齢化の中、30kmもの遠くまで行くのがむづかしい。送迎バスがあっても身体の不自由な人には大変だと思う。(美川町)	1 本計画(案)においては、利用状況や施設水準のみならず、14頁において斎場の位置と移動時間についても考察を行い、移動のご負担が一定の水準を超えないよう配慮しておりますのでご理解ください。	無し
196	1 遠くでは斎場へ行く事が出来ない。(美川町)	1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画(案)13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間1時間、距離にして30km以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。	無し

		<p>基準を一定とし評価するために 1 時間の移動距離を 30km と仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p>	
197	<p>1 今から建設するのではなく現在ある施設をなぜ廃止するのか意味がわからない。施設を維持する為にはある程度費用がかかるのは理解できなくはないが、その費用も捻出できないのか。</p> <p>2 もし美和斎場が廃止にでもなり、他の斎場まで行くとなると、時間的にも、会葬者用の、バス、タクシー代等費用面にしても我々市民の負担が増えると思われる。したがって今ある施設を存続させるよう切望する。</p>	<p>1 斎場は不特定多数の方が利用する公共施設であり、地域に多く配置することが利便性等から考えた場合には理想ですが、斎場は火葬場という施設の性格上、使用中の故障や事故があってはならないと考えています。</p> <p>このため、斎場に対しては予防的な整備や修繕が必要となります。特に老朽化や耐用年数の経過に対応する、建物や設備の大規模修繕は多額の経費を要するため、既存の 7 斎場全てにこれを行なうことは困難です。よって、利便性等も考慮しつつ、継続する斎場を選択する計画を策定いたしました。</p> <p>2 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画（案）13 頁より検討を行っています。その結果、抽出した 7 つの集落については、移動時間 1 時間、距離にして 30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために 1 時間の移動距離を 30km と仮定していますが、降雪等の</p>	無し

		悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。	
198	1 美和町は高齢者も多く、自分で車を運転することができない人も少なくない。また、公共交通機関であるバスの本数も少なく、美和町から斎場がなくなると、そういった高齢者にとって金銭的、体力的な負担が大きくなると考えられる為、美和斎場廃止には反対である。	1 本計画（案）においては、利用状況や施設水準のみならず、14頁において斎場の位置と移動時間についても考察を行い、移動のご負担が一定の水準を超えないよう配慮しておりますのでご理解ください。	無し
199	1 斎場の施設が過大であるという理由で継続しない斎場を出す事が必要なのか、疑問を感じる。継続されない斎場が出る事で、少数ではあるにせよ、今よりも不便を強いられる人が出ることは間違いのない事です。 2 経費がかかり過ぎるといのであれば少しは理解できるかもしれないが、計画書内の「1件当たりの維持管理経費」によりますと、二番目に少ない美和斎場と四番目に少ない美川斎場を継続させないのは理解が難しい。老朽や故障により、多大な費用が掛るようになるまで、継続してもよいのではないのでしょうか。 3 この計画は、継続するかしないかだけで適正配置を検討されていますが、主要斎場である岩国斎場が供用開始から30年を経過しており、土砂災害時の危険区域に指定されている場所にあることから、岩国斎場の	1 国立社会保障・人口問題研究所の公表データから予想されるピークの年の死亡者数に俗に言う友引明けなどの火葬集中日を考慮し、希望される受付時間が可能になるような配慮をした結果で必要炉数を算出し、維持管理などの経費を検討したうえで斎場数を決定しています。 斎場は不特定多数の方が利用する公共施設であり、地域に多く配置することが利便性等から考えた場合には理想ですが、斎場は火葬場という施設の性格上、使用中の故障や事故があってはならないと考えています。 このため、斎場に対しては予防的な整備や修繕が必要となります。特に老朽化や耐用年数の経過に対応する、建物や設備の大規模修繕は多額の経費を要するため、既存の7斎場全てにこれを行なうことは困難です。よって、利便性等も考慮し	無し

	<p>移転を含めた上で、改めて計画される事を提案する。</p> <p>4 計画通り進んだ場合に、継続されなくなった斎場は、どうする考えか。</p>	<p>つつ、継続する斎場を選択する計画を策定いたしました。</p> <p>2 斎場の維持には、通常の維持管理に要する経費のほか、建物や設備の老朽化や耐用年数の経過に対応する、大規模な修繕の経費が必要となります。</p> <p>耐用年数の超過した斎場は、毎年の定期点検や日常点検により性能を維持していますが、これにも限界があり大規模な修繕を行なうことが必要となります。この大規模修繕には多大な費用がかかるため、現在ある7つの斎場全てに必要な大規模修繕を行なうことは困難です。このため、大規模な修繕により延命し、存続する斎場を選択するための斎場整備基本計画を策定するものです。</p> <p>3 斎場整備基本計画は既設の斎場を適正管理するために継続する斎場を選定することを目的に策定した計画です。したがって、現状の斎場の評価を行ってきめたものであり、現在の位置が最適配置と考えているわけではありません。今後、斎場の耐用年数等を考慮しながら、市全体を見据えて、斎場の新たな配置や新築を含めた計画が必要になってくると考えています。</p> <p>4 休場後は、不法侵入や火事など、地域に不安を与えないような管理方法を検討いたします。</p>	
200	1 美和斎場の存続を希望。玖北地区は斎場が2ヶ所必要。玖北	1 計画（案）12頁で示す評価表の総合評価の上位4斎場に	無し

	<p>地区は面積が広く、冬季は降雪があるため。</p>	<p>ついて、市内中心部から離れた集落について検討した結果を計画（案）14 頁に掲載しており、いずれかの斎場に 1 時間で移動可能と評価しています。</p> <p>降雪時は、可能な限りの時間変更の対応や、斎場の誘導路への融雪剤の散布、玄関周りの除雪など、少しでも葬祭のご負担が減らせるよう努めます。</p>	
201	<p>1 現在ある斎場場所は自宅から近距離で経済的に便利であるため、美和斎場の存続を希望する。</p>	<p>1 平成 27 年度から平成 30 年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。</p>	無し
202	<p>1 大きく派手な葬儀を行う人は少なくなり、家族葬が多くなるため、美和斎場の廃止に反対。</p> <p>2 なぜ存続する斎場を 4 箇所とするのか</p> <p>3 なぜ美和斎場を存続させられないのか</p>	<p>1 斎場の統合による伝統的な自宅葬や家族葬の可否については、斎場への移動に要する時間・距離との間には相関性があると考え、計画 13 頁より検討を行っています。その結果、抽出した 7 つの集落については、移動時間 1 時間、距離にして 30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために 1 時間の移動距離を 30km と仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p> <p>2 国立社会保障・人口問題研究所の公表データから予想されるピークの年の死亡者数に俗に言う友引明けなどの火葬集中日を考慮し、希望される受付時間が可能になるような配慮</p>	無し

		<p>をした結果で必要炉数を算出し、維持管理などの経費を検討したうえで斎場数を決定しています。</p> <p>3 斎場は不特定多数の方が利用する公共施設であり、地域に多く配置することが利便性等から考えた場合には理想ですが、斎場は火葬場という施設の性格上、使用中の故障や事故があってはならないと考えています。</p> <p>このため、斎場に対しては予防的な整備や修繕が必要となります。特に老朽化や耐用年数の経過に対応する、建物や設備の大規模修繕は多額の経費を要するため、既存の7斎場全てにこれを行なうことは困難です。よって、利便性等も考慮しつつ、継続する斎場を選択する計画を策定いたしました。</p>	
203	<p>1 美和町内から外へ行くのは時間的にも金銭面でも体力面でも年金生活者にとって、とても無理。美和町内の住民のことを最優先に考えて、美和斎場を存続してほしい。</p>	<p>1 本計画（案）においては、利用状況や施設水準のみならず、14頁において斎場の位置と移動時間についても考察を行い、移動のご負担が一定の水準を超えないよう配慮しておりますのでご理解ください。</p>	無し
204	<p>1 ぜひ美和斎場を残してほしい。</p> <p>2 説明会に来てほしい。</p>	<p>1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。</p> <p>2 自治会単位等でのご要望があれば、計画の説明に対応したいと考えています。</p>	無し
205	<p>1 葬式を実施する講中の高齢</p>	<p>1 岩国市社会福祉協議会によ</p>	無し

	<p>化・戸数の減少で現状でも運営が難しくなっている。火葬場が遠くなると待機時間が長くなり、遺族・親族・会葬者の食事の世話が大変となる。葬儀費用軽減を主目的とした共助の良俗の維持のためにも美和斎場の存続を希望する。</p>	<p>る葬祭用具の無償貸し出しの利用や伝統的な講中の活動による葬祭の支援については、移動距離がかわった場合には若干の形態の変化はあると思われませんが、引き続き可能と考えています。</p>	
206	<p>1 昔から慣例となっている講中による自治的慣習が更に衰微するため、美和町の斎場の撤去に反対です。</p> <p>2 他地域まで行かなければならないことで経済的負担が増すため、美和町の斎場の撤去に反対です。</p>	<p>1 岩国市社会福祉協議会による葬祭用具の無償貸し出しの利用や伝統的な講中の活動による葬祭の支援については、移動距離がかわった場合には若干の形態の変化はあると思われませんが、引き続き可能と考えています。</p> <p>2 町内の斎場が休場となった場合には、ご遺体や斎場まで参列する親族の移動にかかる費用の増額が予想されますが、伝統的な自宅葬や家族葬は可能であると考えていますので、増額にかかる葬祭の経費は交通費のみにとどまるのではないかと考えております。いずれにせよ、葬祭費が増額となる可能性があります。市全体の火葬業務の、安全な運営の継続のため、ご理解をお願いします。</p>	無し
207	<p>1 昔から地域にある互助的な「講中の慣例」が衰退するため、美和町の斎場撤去に反対。</p> <p>2 より遠くの斎場を利用するとなれば経済的な負担増となるため、美和町の斎場撤去に反対。</p> <p>3 斎場の減少に伴い葬儀が順延せざるを得ない場合が懸念</p>	<p>1 岩国市社会福祉協議会による葬祭用具の無償貸し出しの利用や伝統的な講中の活動による葬祭の支援については、移動距離がかわった場合には若干の形態の変化はあると思われませんが、引き続き可能と考えています。</p> <p>2 町内の斎場が休場となった</p>	無し

	される。	<p>場合には、ご遺体や斎場まで参列する親族の移動にかかる費用の増額が予想されますが、伝統的な自宅葬や家族葬は可能であると考えていますので、増額にかかる葬祭の経費は交通費のみにとどまるのではないかと考えております。いずれにせよ、葬祭費が増額となる可能性があります。市全体の火葬業務の、安全な運営の継続のため、ご理解をお願いします。</p> <p>3 火葬の需用については、平成52年までの予測の中で、最も多い平成32年の死亡者数を元に一日の平均火葬件数等を積算しています(計画(案)5頁)。また、必要炉数の積算において(計画(案)7頁)、火葬炉の運転を1日あたり1回で計画することで、葬儀日の順延等の発生が少なくなるように配慮しています。</p>	
208	1 美和斎場撤去に反対します。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
209	1 美川斎場をぜひのこしていただきたいです。	1 同上	無し
210	1 美川斎場をぜひのこして下さい。	1 同上	無し
211	1 最近家族の人数も減り、大きな金額を使う斎場は使用できない人もふえています。現に、昨年も、1人か2人で通夜をされた人の葬式にもたちありました。	1 斎場の統合による伝統的な自宅葬や家族葬の可否については、斎場への移動に要する時間・距離との間には相関性があると考え、計画13頁より検討を行っています。その結果、抽	無し

	<p>2 本郷、美川の人の為に美川斎場をぜひ存続していただきたいと思います。</p>	<p>出した7つの集落については、移動時間 1 時間、距離にして 30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために 1 時間の移動距離を 30km と仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p> <p>2 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。</p>	
212	<p>1 勤務の都合上、都会生活を30数年していた長男が定年を迎え帰ってくれると思って居たが、彼は以前と違って不便になったと言う。当地の公共建物は老朽化を理由に市中心部へ集約され、何事も便数の少ないバスを利用し一日仕事で片付けなければならなくなる。生れた土地で人生の最後さえ迎えられなくなり、やがては病院も閉鎖されるのでは、と思うととても故郷へ生活の根拠地を移す気にはなれない、と現在は通勤の形で家業を継いで居る。残念ながら一つ一つこの様な形で今後も閉鎖され過疎化が進んで行くのではなかろうかと思ひ斎場の集約化に反対である。(美和町)</p>	<p>1 存続する斎場の選定に際しては、単に火葬件数の多い斎場のみを残すよう評価するのではなく、計画(案)14頁のとおり、市が広域であるため、斎場が遠方になれば移動に時間がかかり、葬儀に支障が生じる可能性があることも考慮しています。</p> <p>本計画は既設の斎場について継続する斎場を選定するものですが、今後斎場の耐用年数等を考慮しながら策定する次期計画については、都市部に限らず、市全体を見据えて、斎場の新たな配置や新築を含めたものにする必要があると考えています。</p>	無し
213	<p>1 距離で物事が決まるようになりましたら、田舎には住めな</p>	<p>1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知</p>	無し

	<p>くなりますね。</p>	<p>と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。</p>	
214	<p>1 人は誰しも故郷で骨を埋めたいし、子孫の方々も、親の拾骨を故郷に近いところでやりたいのが人情である。</p> <p>2 経済的理由とが、人の生命の尊厳を決められるものではない。</p> <p>3 美川斎場は本郷村民の出資でつくられたもので、簡単に廃止されては祖先の霊に申し訳ない事をよく吟味されたい。</p>	<p>1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。</p> <p>2 斎場は不特定多数の方が利用する公共施設であり、地域に多く配置することが利便性等から考えた場合には理想ですが、斎場は火葬場という施設の性格上、使用中の故障や事故があってはならないと考えています。</p> <p>このため、斎場に対しては予防的な整備や修繕が必要となります。特に老朽化や耐用年数の経過に対応する、建物や設備の大規模修繕は多額の経費を要するため、既存の7斎場全てにこれを行なうことは困難です。よって、利便性等も考慮しつつ、継続する斎場を選択する計画を策定いたしました。</p> <p>3 平成18年の合併以来、協定書のお約束のとおり、既存7斎場を運営してまいりました。しかし、既に設備の耐用年数を経過している斎場もあり、また順次各斎場に耐用年数が迫るため、中長期の斎場整備についての基本的な計画を策定する必要が生じたものです。</p>	無し
215	<p>1 美川斎場廃棄などの話は今まで聞いたこともない。少し期間をかけて、元本郷村民の意向</p>	<p>1 計画（案）15頁にありますとおり、7斎場から4斎場への適正配置は、平成27年度より</p>	無し

	<p>をきいた上で、何事も決定して欲しい。</p> <p>2 美川斎場は本郷村時代に村費を出して建設されたときく。意向位は調べて存続に向けて調べて欲しいと思う。</p> <p>3 市として美川斎場を修理などして使用できないのか。</p> <p>4 本郷町から岩国まで葬儀出棺となると、中々大変なことだと思ふ。美川、美和位で出来ることに、こした事はない。美川斎場の休廃止を再考して欲しい。</p>	<p>ただちに行うのではなく、平成27年度から平成30年度までの間に市民の理解を得ることとしています。自治会単位等でのご要望があれば、計画の説明に対応したいと考えていますので、よろしくお願ひします。</p> <p>2 平成18年の合併以来、協定書のお約束のとおり、既存7斎場を運営してまいりました。しかし、既に設備の耐用年数を経過している斎場もあり、また順次各斎場に耐用年数が迫るため、中長期の斎場整備についての基本的な計画を策定する必要が生じたものです。</p> <p>3 斎場の維持には、通常の維持管理に要する経費のほか、建物や設備の老朽化や耐用年数の経過に対応する、大規模な修繕の経費が必要となります。</p> <p>耐用年数の超過した斎場は、毎年の定期点検や日常点検により性能を維持していますが、これにも限界があり大規模な修繕を行なうことが必要となります。この大規模修繕には多大な費用がかかるため、現在ある7つの斎場全てに必要な大規模修繕を行なうことは困難です。このため、大規模な修繕により延命し、存続する斎場を選択するための斎場整備基本計画を策定するものです。</p> <p>4 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考</p>	
--	---	--	--

		<p>え、計画（案）13 頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間 1 時間、距離にして 30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために 1 時間の移動距離を 30km と仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p>	
216	<p>1 美和町は玖北において人口も一番多く、交通の便もよく、利便性もある。</p> <p>2 現在ある斎場を修理しても 3～5 百万円程度であり、美和町に斎場を残して欲しい。岩国市は国からの補助金も多くありわずかな金額で斎場が存続できれば是非斎場は残して欲しい。</p> <p>3 今回美和町の斎場を廃止して錦町にするとの案もある様であるが、今後病院問題が出て来た時、同じ様な考え方をすれば美和病院の存続も危惧される。</p> <p>4 今後、斎場が無くなれば自宅に於いての葬儀が難しくなるため美和斎場廃止には反対である。</p>	<p>1 計画（案）10 頁からの各斎場の評価においては、年間の火葬件数以外の、立地状況や施設水準等も評価の対象とした総合評価としております。</p> <p>各斎場の、想定される利用者の人口については、利用状況の年間火葬件数に反映されているものと考えています。斎場までの距離につきましては、別途 14 頁にて考察を行っております。</p> <p>2 斎場の維持には、通常の維持管理に要する経費のほか、建物や設備の老朽化や耐用年数の経過に対応する、大規模な修繕の経費が必要となります。</p> <p>耐用年数の超過した斎場は、毎年の定期点検や日常点検により性能を維持していますが、これにも限界があり大規模な修繕を行なうことが必要となります。この大規模修繕には多大な費用がかかるため、現在ある 7 つの斎場全てに必要な大</p>	無し

		<p>規模修繕を行なうことは困難です。このため、大規模な修繕により延命し、存続する斎場を選択するための斎場整備基本計画を策定するものです。</p> <p>3 存続する斎場の選定に際しては、単に火葬件数の多い斎場のみを残すよう評価するのではなく、計画（案）14 頁のとおり、市が広域であるため、斎場が遠方になれば移動に時間がかかり、葬儀に支障が生じる可能性があることも考慮しています。</p> <p>本計画は既設の斎場について継続する斎場を選定するものですが、今後斎場の耐用年数等を考慮しながら策定する次期計画については、都市部に限らず、市全体を見据えて、斎場の新たな配置や新築を含めたものにすると考えています。</p> <p>4 斎場の統合による伝統的な自宅葬や家族葬の可否については、斎場への移動に要する時間・距離との間には相関性があると考え、計画 13 頁より検討を行っています。その結果、抽出した 7 つの集落については、移動時間 1 時間、距離にして 30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p>	
217	<p>1 美和町で亡くなった方の何%が美和の斎場を利用しているのか？</p> <p>2 大手葬儀社で葬儀を出すと</p>	<p>1 美和町に住民票を置かれていた方の、美和斎場での火葬は、平成 23 年度で 62%、平成 24 年度で 50%、平成 25 年度で</p>	無し

	<p>かなりの負担になるので岩国市社会福祉協議会で行い美和の斎場を利用するのが負担が少なくすむ。</p> <p>3 家で葬儀を望むので子供たちの葬祭の負担も減らすことができる。</p> <p>4 テレビで神戸の葬儀の話で、今現在亡くなって1週間斎場の空きがないため葬儀が先伸ばしになって大変だと聞いた。その為にも存続してほしい。</p>	<p>52%となっています。</p> <p>2・3 岩国市社会福祉協議会による葬祭用具の無償貸し出しの利用や伝統的な講中の活動による葬祭の支援、自宅葬については、移動距離がかわった場合には若干の形態の変化はあると思われますが、引き続き可能と考えています。</p> <p>4 火葬の需用については、平成52年までの予測の中で、最も多い平成32年の死亡者数を元に一日の平均火葬件数等を積算しています(計画(案)5頁)。また、必要炉数の積算において(計画(案)7頁)、火葬炉の運転を1日あたり1回で計画することで、葬儀日の順延等の発生が少なくなるように配慮しています。</p>	
218	<p>1 この十数年講の方の葬儀のお手伝いをさせてもらい斎場の必要性がわかった。</p> <p>2 神戸で斎場が1週間待ちだとテレビでやっているのを見たが大変だと思う。今から葬儀の件数も必ず増えるので今ある斎場を存続しなければ神戸と同じ問題がおこると思う。</p> <p>3 両親の葬儀を出したがかなりの金銭面の負担がかかり請求金額がすごかった。岩国市社会福祉協議会の利用が葬祭費の負担が少なく望ましいと思う。(美和町)</p>	<p>1 岩国市社会福祉協議会による葬祭用具の無償貸し出しの利用や伝統的な講中の活動による葬祭の支援については、移動距離がかわった場合には若干の形態の変化はあると思われますが、引き続き可能と考えています。</p> <p>2 火葬の需用については、平成52年までの予測の中で、最も多い平成32年の死亡者数を元に一日の平均火葬件数等を積算しています(計画(案)5頁)。また、必要炉数の積算において(計画(案)7頁)、火葬炉の運転を1日あたり1回で計画することで、葬儀日の順延等の発生が少なくなるように配慮</p>	無し

		<p>しています。</p> <p>3 1と同</p>	
219	<p>1 住民も高齢になるため、なるべく斎場は近くにあって欲しい。(美和町)</p>	<p>1 本計画(案)においては、利用状況や施設水準のみならず、14頁において斎場の位置と移動時間についても考察を行い、移動のご負担が一定の水準を超えないよう配慮しておりますのでご理解ください。</p>	無し
220	<p>1 最近では会館を使われる人も多くはなっているが、まだまだ自宅でやられる方も多いので、なるべく近くにあってほしい。(美和町)</p> <p>2 冬場に雪が降ったときも近いところの方が安心である為。</p>	<p>1 斎場の統合による伝統的な自宅葬や家族葬の可否については、斎場への移動に要する時間・距離との間には相関性があると考え、計画13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間1時間、距離にして30km以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために1時間の移動距離を30kmと仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p> <p>2 可能な限りの時間変更の対応や、斎場の誘導路への融雪剤の散布、玄関周りの除雪など、少しでも葬祭のご負担が減らせるよう努めます。</p>	無し
221	<p>1 最近は葬祭業者が入り込み岩国斎場を使うことがかなり多くなっています。以前よりは実際には経費もかさんでいます。しかし人口が減り部落の力が弱くなっており今の現象は仕方のないことかもしれませ</p>	<p>1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画(案)13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、</p>	無し

	<p>んが近くに斎場があり色々な面で助かっている人間がいることも事実だと思います。(美川町)</p> <p>2 すべての施設を維持することは大変なことだとは思いますが、今一度一連の経緯を聞かせてもらいたい。</p>	<p>移動時間 1 時間、距離にして 30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために 1 時間の移動距離を 30km と仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p> <p>2 自治会単位等でのご要望があれば、計画の説明に対応したいと考えています。</p>	
222	<p>1 4. 継続する斎場について</p> <p>2) 各斎場の評価による選定</p> <p>①継続する斎場の検討結果</p> <p>この案及び平成 27 年 3 月議会一般質問での答弁内容からは、4 斎場が現位置での継続か否かが不明であり、今後、老朽化等に伴い移転新築が必要な場合、エリア等(例えば玖北地域で 1 斎場なのか)の明確化が必要と考えます。また、玖北地域の人口が少ないことを踏まえた計画とも受け取れますが、面積が広大で道路事情も悪い地域であること、特に自宅葬が多い美和地域においては、地域コミュニティの柱である講中の存亡にもかかわることから、現錦斎場の継続では住民の理解は得られないと考えます。</p> <p>2 5. まとめ</p> <p>市民の理解を得た上、平成 27～30 年度の間に 3 斎場を閉鎖すると読み取れますが、な</p>	<p>1 斎場整備基本計画は既設の斎場を適正管理するために継続する斎場を選定することを目的に策定した計画です。したがって、存続するとした 4 斎場は、現位置での継続です。</p> <p>今後においては、斎場の耐用年数等を考慮しながら、市全体を見据えた、斎場の新たな配置や新築を含めた計画が必要になってくるものと考えています。</p> <p>斎場の統合による伝統的な自宅葬の可否については、斎場への移動に要する時間・距離との間には相関性があると考え、計画 13 頁より検討を行っています。その結果、抽出した 7 つの集落については、移動時間 1 時間、距離にして 30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>岩国市社会福祉協議会による葬祭用具の無償貸し出しの</p>	無し

	<p>お書き以降の3斎場の方針について、今後は小規模な修繕も一切行わず、また、2炉中1炉が故障した場合も閉鎖するのかも不明なため、規模や金額等についても明確化の方針を示す必要があると考えます。</p> <p>3 総論</p> <p>以上のことから、市民の理解を得る第一段階として、総合支所の統廃合と同様に地域審議会への諮問が必要と考えます。また、地域審議会の設置は、平成28年3月までとなっていることから、第二段階として美和地域自治会連合会にも理解を得る必要があると考えます。</p>	<p>利用や伝統的な講中の活動による葬祭の支援については、移動距離がかわった場合には若干の形態の変化はあると思われますが、引き続き可能と考えています。</p> <p>2 計画(案)15頁にありますとおり、7斎場から4斎場への適正配置は、平成27年度よりただちに行うのではなく、平成27年度から平成30年度までの間に市民の理解を得ることとしています。</p> <p>継続しないとした斎場についても、市民の理解が得られた休場の日までは、老朽化や耐用年数の経過に対応するための大規模修繕を除き、点検や修繕をしつつ使用を継続することを想定しています。</p> <p>なお、2炉中1炉が故障した場合は、修繕可能な場合は故障した1炉が復帰するまでの間の休場が必要ですが、大規模な修繕が必要となった場合には、多大な費用をかけ修繕を行うことは困難と考えています。</p> <p>3 市全体の火葬業務についての計画であるため、個々の地域審議会への諮問が適当であるかは検討させていただきますが、自治会単位等でのご要望があれば、計画の説明に対応したいと考えています。</p>	
223	1 賛成です。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努め	無し

		ます。	
224	1 賛成です。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
225	意見なしにより無効		
226	意見なしにより無効		
227	<p>1 他の斎場（岩国、錦町）を使用するにはいずれもかなりの距離もあり、時間もかかるし負担が大きい。</p> <p>2 老朽化している場合、何としてでも予算を計上し、補修をして、存続できるようにしてほしい。</p> <p>3 人生の最期は、地元の美和斎場でお世話になりたいと思う。</p>	<p>1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画（案）13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間1時間、距離にして30km以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために1時間の移動距離を30kmと仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p> <p>2 斎場の維持には、通常の維持管理に要する経費のほか、建物や設備の老朽化や耐用年数の経過に対応する、大規模な修繕の経費が必要となります。</p> <p>耐用年数の超過した斎場は、毎年の定期点検や日常点検により性能を維持していますが、これにも限界があり大規模な修繕を行なうことが必要となります。この大規模修繕には多大な費用がかかるため、現在あ</p>	無し

		<p>る7つの斎場全てに必要な大規模修繕を行なうことは困難です。このため、大規模な修繕により延命し、存続する斎場を選択するための斎場整備基本計画を策定するものです。</p> <p>3 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。</p>	
228	<p>1 美和斎場廃止については反対です。美和で生れ、美和で育って八十二年、終わりはやはり美和の斎場でお世話になりたいです。</p>	<p>1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。</p>	無し
229	<p>1 美和町に唯一の斎場は是非残してほしい。</p>	<p>1 同上</p>	無し
230	<p>1 美和斎場廃止反対です。この年（八十一才）に成って、近所の人や友達などをお見送りしたいので、斎場は近い所へ。</p>	<p>1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画（案）13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間1時間、距離にして30km以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために1時間の移動距離を30kmと仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p>	無し
231	<p>1 美和斎場廃止反対です。生まれ育った土地なのに、遠い所の斎場まで行くなどいやです。</p>	<p>1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経</p>	無し

		<p>費の間には相関性があると考え、計画（案）13 頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間 1 時間、距離にして 30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために 1 時間の移動距離を 30km と仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p>	
232	1 斎場廃止反対。私は八十二才残り少ない日々。美和の斎場で灰になりたい	1 平成 27 年度から平成 30 年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
233	1 美和斎場がなくなつては困ります。	1 同上	無し
234	1 美和斎場がなくなつては困ります。	1 同上	無し
235	<p>1 年を取ると近くでないとお見送りが出来ない。</p> <p>2 乗り物が苦手で近くが良い。</p> <p>3 合併したばかりにだんだん淋しくなるのは困る。(美和町)</p>	<p>1 本計画（案）においては、利用状況や施設水準のみならず、14 頁において斎場の位置と移動時間についても考察を行い、移動のご負担が一定の水準を超えないよう配慮しておりますのでご理解ください。</p> <p>2 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画（案）13 頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間 1 時間、距離にして</p>	無し

		<p>30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために 1 時間の移動距離を 30km と仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p> <p>3 斎場（火葬場）は、なくてはならない必要不可欠な施設ですが、他の生活施設とは異なり、一般の方が日常的に頻繁に利用する施設とは考えておりません。</p> <p>本計画は既設の斎場について継続する斎場を選定するものですが、今後斎場の耐用年数等を考慮しながら策定する次期計画については、都市部に限らず、市全体を見据えて、斎場の新たな配置や新築を含めたものにする必要があると考えています。</p>	
236	1 美和斎場がなくなる事こまります。	1 平成 27 年度から平成 30 年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
237	1 美和斎場なくなる事絶対こまります。	1 同上	無し
238	1 岩国市美和斎場を絶対無くさないで下さい。	1 同上	無し
239	1 美和斎場がなくなったら困ります。反対です。	1 同上	無し
240	1 美和斎場の廃棄に反対します。	1 同上	無し
241	1 市斎場廃止反対。人生の最後	1 同上	無し

	は美和でと願っています		
242	1 美和の斎場が無くなれば、高齢者は身内の葬式にも参列できなくなるのではないかと、不安を持っている。美和町時代の主な施設は無くならないよう、願います。	1 本計画（案）においては、利用状況や施設水準のみならず、14 頁において斎場の位置と移動時間についても考察を行い、移動のご負担が一定の水準を超えないよう配慮しておりますのでご理解ください。	無し
243	1 美和地区から岩国や錦斎場の利用は大変不便となり冬期は特に会葬者の参列が困難と予想されるため是非美和斎場が必要。 2 葬祭当日は時間的、経済的にも支障が大きくなると予想する。	1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画（案）13 頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間 1 時間、距離にして 30km 以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。 基準を一定とし評価するために 1 時間の移動距離を 30km と仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。 降雪時は、可能な限りの時間変更の対応や、斎場の誘導路への融雪剤の散布、玄関周りの除雪など、少しでも葬祭のご負担が減らせるよう努めます。 2 町内の斎場が休場となった場合には、ご遺体や斎場まで参列する親族の移動にかかる費用の増額が予想されますが、伝統的な自宅葬や家族葬は可能であると考えていますので、増額にかかる葬祭の経費は交通費のみにとどまるのではない	無し

		かと考えております。いずれにせよ、葬祭費が増額となる可能性があります。市全体の火葬業務の、安全な運営の継続のため、ご理解をお願いします。	
244	<p>1 葬祭当日は時間的、経済的にも支障が大きくなると予想する。</p> <p>2 美和地区から岩国や錦斎場の利用は大変不便となり冬期は特に会葬者の参列が困難と予想されるため是非美和斎場が必要。</p>	<p>1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画（案）13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間1時間、距離にして30km以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために1時間の移動距離を30kmと仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p> <p>2 降雪時は、可能な限りの時間変更の対応や、斎場の誘導路への融雪剤の散布、玄関周りの除雪など、少しでも葬祭のご負担が減らせるよう努めます。</p>	無し
245	<p>1 斎場廃止の計画が有る様ですが、公に説明されたとは言えず美和町無視した乱暴なやり方で一方的過ぎると多くの町民は思っている。</p> <p>2 高齢化が益々進んで行く中山間僻地に唯一残る貴重な斎場として補修存続することを希望する。</p> <p>3 現美和町内に質素な葬祭場を求む。</p>	<p>1 自治会単位等でのご要望があれば、計画の説明に対応したいと考えています。</p> <p>2 斎場の維持には、通常の維持管理に要する経費のほか、建物や設備の老朽化や耐用年数の経過に対応する、大規模な修繕の経費が必要となります。</p> <p>耐用年数の超過した斎場は、毎年の定期点検や日常点検により性能を維持していますが、</p>	無し

		<p>これにも限界があり大規模な修繕を行なうことが必要となります。この大規模修繕には多大な費用がかかるため、現在ある7つの斎場全てに必要な大規模修繕を行なうことは困難です。このため、大規模な修繕により延命し、存続する斎場を選択するための斎場整備基本計画を策定するものです。</p> <p>3 斎場は不特定多数の方が利用する公共施設であり、地域に多く配置することが利便性等から考えた場合には理想ですが、斎場は火葬場という施設の性格上、使用中の故障や事故があってはならないと考えています。</p> <p>このため、斎場に対しては予防的な整備や修繕が必要となります。特に老朽化や耐用年数の経過に対応する、建物や設備の大規模修繕は多額の経費を要するため、既存の7斎場全てにこれを行なうことは困難です。よって、利便性等も考慮しつつ、継続する斎場を選択する計画を策定いたしました。</p>	
246	<p>1 高齢化が進む中で町にはなくてはならない物。(美和町)</p> <p>設備が壊れているならともかく使える物を使わずに廃止にする事には納得がいかない。</p>	<p>1 本計画(案)は、既存の斎場を継続利用する中で市全体の火葬需要にこたえられるよう計画するものです。老朽化や耐用年数の経過による大規模な修繕を除き、日常的な修繕や、点検のみで修繕を要しない斎場については活用することを想定しています。</p> <p>継続しないとした3斎場に</p>	無し

		についても、ただちに休廃止すると決定するものではありません。	
247	1 近くの公共施設又は自宅葬の時近くの美和斎場を利用する。施設の可動に支障がなければ存続することを希望する。	1 本計画（案）は、既存の斎場を継続利用する中で市全体の火葬需要にこたえられるよう計画するものです。老朽化や耐用年数の経過による大規模な修繕を除き、日常的な修繕や、点検のみで修繕を要しない斎場については活用することを想定しています。 継続しないとした3斎場についても、ただちに休廃止すると決定するものではありません。	無し
248	1 規模を縮小する事も無理なら、不便ではあるが、統合も止むを得ないかと思う。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
249	1 美和斎場の廃止に反対します。	1 同上	無し
250	1 斎場が美川、美和と無くなると不便でこまるので是非考え直してほしい。 2 錦斎場よりも美和斎場の方が周辺に駐車場が有り便利だと思う。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。 2 斎場の施設の評価については、計画（案）12頁で示す評価表の中の施設水準で検討しています。	無し
251	1 本郷地区に住んでいる市民は、現在主に美川町及び美和町の斎場を利用している。立派なものでもなくてもよいので、せめて美和町だけには斎場を残してほしい。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。 2 火葬の需用については、平成	無し

	<p>2 今後ますます高齢化が進み、利用者は増加すると思われる。立派なものでなくてもよいので、せめて美和町だけには斎場を残してほしい。</p>	<p>52年までの予測の中で、最も多い平成32年の死亡者数を元に一日の平均火葬件数等を積算しています(計画(案)5頁)。また、必要炉数の積算において(計画(案)7頁)、火葬炉の運転を1日あたり1回で計画することで、葬儀日の順延等の発生が少なくなるように配慮しています。</p>	
252	<p>1 斎場、美和町が良いと思う。交通機関の良い所へ設置してほしい。</p>	<p>1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画(案)13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間1時間、距離にして30km以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために1時間の移動距離を30kmと仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p>	無し
253	<p>1 美和斎場は必要だと思いません。玖北で1つになると聞いたが、交通の便や冬場の道路状況などから言っても、美和に置くべきだと思う。</p>	<p>1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画(案)13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間1時間、距離にして30km以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p>	無し

		基準を一定とし評価するために1時間の移動距離を30kmと仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。	
254	1 昔から慣例となっている講中による自治的慣習が更に衰微し、経済的負担も他域まで行くことにより増すため、美和町の斎場の撤去に反対。	1 岩国市社会福祉協議会による葬祭用具の無償貸し出しの利用や伝統的な講中の活動による葬祭の支援については、移動距離がかわった場合には若干の形態の変化はあると思われませんが、引き続き可能と考えています。	無し
255	1 ぜひ美和斎場を残してもらいたい。 2 説明会に来てほしい。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。 2 自治会単位等でのご要望があれば、計画の説明に対応したいと考えています。	無し
256	1 美和斎場撤去に反対します。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
257	1 在宅医療を進める中で、地元の斎場を廃止することは間違っていると思う。斎場の存続を希望。	1 同上	無し
258	1 団塊世代が今七十才を過ぎ人生の終末期に有り、今から二十年間利用回数も増えるこの時期に廃止するとはどうであろうか。 2 葬儀の形式から見て、葬儀社は別として、地元の人々が式で	1 火葬の需用については、平成52年までの予測の中で、最も多い平成32年の死亡者数を元に一日の平均火葬件数等を積算しています(計画(案)5頁)。また、必要炉数の積算において(計画(案)7頁)、火葬炉の	無し

	往復二時間、使用時間約一時間の最低合計三時間待つ身になるため、一考を要すと思う。	<p>運転を1日あたり1回で計画することで、葬儀日の順延等の発生が少なくなるように配慮しています。</p> <p>2 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画（案）13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間1時間、距離にして30km以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>基準を一定とし評価するために1時間の移動距離を30kmと仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p>	
259	1 美和斎場廃止に反対します。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
260	1 全員が車に乗れて近くに住んでいるという事がないので、切りすてないで下さい。(美和町)	1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画（案）13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間1時間、距離にして30km以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。	無し

		めに1時間の移動距離を30kmと仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。	
261	1 今から高齢化も進むため、葬祭費を安くすませたい人は美和の斎場を使用すると思う。	1 町内の斎場が休場となった場合には、ご遺体や斎場まで参列する親族の移動にかかる費用の増額が予想されますが、伝統的な自宅葬や家族葬は可能であると考えていますので、増額にかかる葬祭の経費は交通費のみにとどまるのではないかと考えております。いずれにせよ、葬祭費が増額となる可能性があります。市全体の火葬業務の、安全な運営の継続のため、ご理解をお願いします。	無し
262	1 美川、美和斎場廃止と聞いた。本郷市民としては、大変困る。計画を廃止し、存続をお願いします。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
263	1 利用される方も多く、不自由な思いをするので美川及び美和斎場の廃止に反対です。『何でもかんでも統合』すると言うのは、いかがなものかと思いません。	1 斎場は不特定多数の方が利用する公共施設であり、地域に多く配置することが利便性等から考えた場合には理想ですが、斎場は火葬場という施設の性格上、使用中の故障や事故があってはならないと考えています。 このため、斎場に対しては予防的な整備や修繕が必要となります。特に老朽化や耐用年数の経過に対応する、建物や設備の大規模修繕は多額の経費を要するため、既存の7斎場全てにこれを行なうことは困難で	無し

		す。よって、利便性等も考慮しつつ、継続する斎場を選択する計画を策定いたしました。	
264	1 美和の斎場がなくなる事は反対です。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
265	1 美和の斎場がなくなる事は反対です。	1 同上	無し
266	1 美和町の斎場が無くなる事に反対です。	1 同上	無し
267	1 美和町の斎場が無くなる事は反対です。	1 同上	無し
268	1 美和斎場がなくなる事には反対します。	1 同上	無し
269	1 美和斎場は利用する人が多いと思う。なくなるのは反対です。	1 同上	無し
270	1 美川町の斎場がなくなる事は反対します。	1 同上	無し
271	1 父親が 80 歳を越えており、近くに斎場があるのを希望している。(美和町)	1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画(案)13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間1時間、距離にして30km以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。 移動のご負担が一定の水準を超えないよう配慮しておりますのでご理解ください。	無し
272	1 美和町の斎場がなくなる事は反対します。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へ	無し

		のご理解が得られるよう努めます。	
273	1 美和の斎場がなくなる事は反対です。	1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。	無し
274	<p>1 斎場まで1時間で移動できる距離を30kmと仮定しているが道路状況が検討されていない。幅員の狭い曲がりくねった市道等も山間地域には多くあり、集落によっては、30km以下であっても移動に1時間以上を要するところもある。道路状況の検討をするべきである。</p> <p>2 美和、本郷、錦の各地域から距離的に好位置にある美川斎場は、大規模改修が必要となるまで当面継続すべきである。</p>	<p>1 斎場への移動に要する時間・距離と、交通の利便性や移動の負担及び葬祭に要する経費の間には相関性があると考え、計画（案）13頁より検討を行っています。その結果、抽出した7つの集落については、移動時間1時間、距離にして30km以内で、存続するとした斎場のいずれかに到着できることが確認できました。</p> <p>検討に用いた7つの集落から各斎場への経路は、降雪等の悪天候を除き、1時間の移動距離30kmの条件を満たすものと考えています。</p> <p>基準を一定とし評価するために1時間の移動距離を30kmと仮定していますが、降雪等の悪天候については評価のための標準化が困難ですのでご了承ください。</p> <p>2 計画（案）12頁で示す評価表の総合評価の上位4斎場について、市内中心部から離れた集落について検討した結果を計画（案）14頁に掲載しており、いずれかの斎場に1時間で移動可能と評価しています。</p> <p>本計画（案）は、既存の斎場を継続利用する中で市全体の</p>	無し

		<p>火葬需要にこたえられるよう計画するものです。老朽化や耐用年数の経過による大規模な修繕を除き、日常的な修繕や、点検のみで修繕を要しない斎場については活用することを想定しています。</p> <p>継続しないとした3斎場についても、ただちに休廃止すると決定するものではありません。</p>	
275	<p>1 美川斎場廃止反対します。</p>	<p>1 平成27年度から平成30年度までの期間を設け、計画の周知と説明を行い、市民から計画へのご理解が得られるよう努めます。</p>	無し
276	<p>1 美川斎場廃止反対します。</p> <p>旧岩国市に合併して良い事一つもないですね。旧美川町ときは斎場の廃止の話があった事はないですよ。廃止にする理由がしりたい。</p>	<p>1 同上</p>	無し